ウェザーリンク

WeatherLink for Vantage Pro2
Ver 6.0.3
(6510USB & 6510SER)

インストール マニュアル

目次

はじめに

この度はウェザーリンク VP 用をお買い上げ頂きありがとうございます。本製品は米国製のため、取扱説明書やソフト中の記述は全て英語です。

本来はお客様ご自身で英文取扱説明書やソフト中のヘルプファイルを参照して操作、設定をして頂きたいのですが、多数のお客様のご要望により、基本操作、設定の方法、データの取り方等のみを弊社なりに簡潔にかつ抜粋して独自にまとめました。

まずはお手数ですが英文取扱説明書は必ずご覧ください。特にどれがどのアイテムなのか、また、接続図などはこの簡易取扱説明書には省略してありますので、必ず目を通すようにしてください。そして、誠に申し訳ございませんが、この簡易取扱説明書に記載していない機能の操作や設定、また用語の説明などは、先にも述べましたが英文取扱説明書を解読、ならびにソフトの中のヘルプファイルをご参照の上、お客様ご自身で習得して頂きますよう、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

お客様の中に勘違いからくる非常に稀なケースですが、コンソールにロガーだけ差し込んで、後日パソコン（以下 PC）にソフトをインストールしてデータを収集しようとなされるお客様がいらっしゃいます。しかしながらこの方法ではデータは収集できません。本機は 1 台 1 台 PC より英文取扱説明書及びこの簡易取扱説明書の要領で設定しないと、コンソールには現況気象が表示されますが、測定データは蓄積しませんので、仮に複数台所有して測定する場合でも必ず PC より 1 台 1 台設定してから測定を始めてください。実際に測定する場合も、ぶっつけ本番ではなく、正常に測定できるかどうかを必ず一度お試しになってから測定を開始して頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、この簡易取扱説明書における注意事項として、本内容はインストールの手順は、バージョン 5.9.0 を基準にして作成してあり、各種設定のウォークスルーに関しては、バージョン 6.03 を基準にしています。そして日射センサー、UV センサー等のオプション類を付けていない基本的な標準の「ヴァンテージ・プロ 2 （Vantage Pro2）」、かつ 「Windows XP Professional 」 の環境における取扱説明書とさせて頂きます。オプション類を付けた場合にはこの簡易取扱説明書には記載のない画面や設定があります。その場合は恐縮ですが、英文取扱説明書、及びソフトの中のヘルプファイルをご参照の上、お客様自身で操作や設定を行ってください。

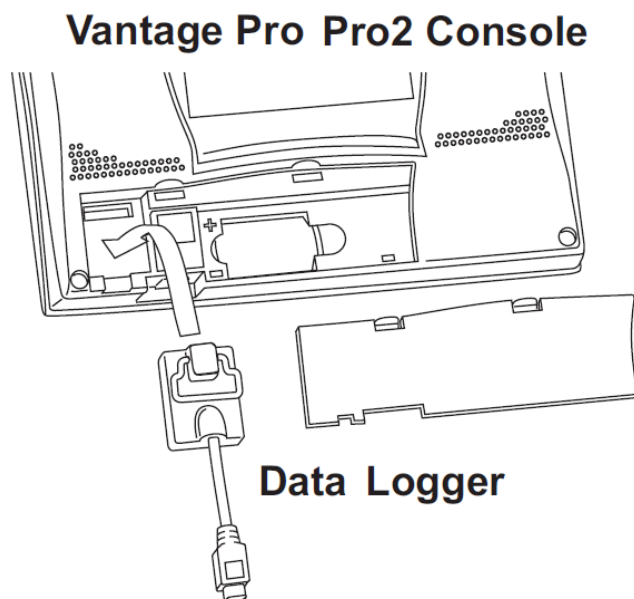
また最新ソフトのバージョンは DAVIS 社のホームページ（英文）で無料ダウンロードできます。（バグや機能の向上、そして新しいオプションの発売等があると予告なしにバージョンアップされます。）最新バージョンをご希望のお客様は下記アドレスよりバージョンをチェックし、ダウンロードしてください。

http://www.davisnet.com/support/weather/downloads/software_sftwr.asp

以上の内容をご理解して頂き、快適な気象データ収集のお役に立てればと存じます。この取扱説明書において、ご不明な点等ございましたらご遠慮なくお問い合わせください。
なお、誠に勝手ながら弊社及び編集者の許可なく無断コピー、無断転用等の行為は固くお断り申し上げます。

インストールの前に

ロガー取り付けのご注意

ウェザーリンクを使って PC に接続する場合の注意です。

ウェザーリンクに付属されているロガー部分をコンソール（表示器）に取り付ける場合は以下の 2 点に注意して取り付けてください。

1. AC アダプタをコンセントからはずし､コンソール側の電源コネクタもはずしてください。

2. コンソール（表示器）に内蔵した電池（単二電池×3 本）をはずしてください。

3. ウェザーリンクに付属のデータロガーをコンソールに接続します。

※ 1 及び 2 はどちらか一つではなく､1 と 2 ともに実行された上でロガーの接続をします。
※ ロガーを取り付けた後で、電池及び電源コネクタを接続してください。

コンソール初期設定の再確認をしてください。DONE キーを押して初期設定を進めていくと

SERIAL BAUD RATE 19200

表示が現れることを確認してください。この表示が確認できたら、初めてロガーを認識したことになります。ロガー認識がされていない状態でケーブルを接続してウェザーリンクを走らせても、ロガー動作（データ保存動作）はせずに現状気象の表示動作だけとなります。

＜ 6510SER（シリアルポート接続）の場合＞

1. インストールをする前に、コンソールマニュアル、ISS マニュアルをご参照の上、コンソールと ISS が問題なく通信し、コンソールに現況気象が表示できる所までセッティングしてください。

2. コンソールの表示画面に現況気象を表示させ､コンソールにロガーをセットし､専用 232C ケーブルを接続し、次にシリアルポート接続アダプタを PC のコムポート端子（シリアル端子）に接続し、ロガーと接続した専用 232C ケーブルをシリアルポート接続アダプタと接続する。

「コンソール → ロガー → 専用 232C ケーブル → シリアルポート接続アダプタ → PC」

3. 19 ページへ進みます。

＜ 6510USB（USB 接続）の場合＞

1. インストールをする前に、コンソールマニュアル及び ISS マニュアルをご参照の上、コンソールと ISS が問題なく通信し、コンソールに現況気象が表示できる所までセッティングしてください。

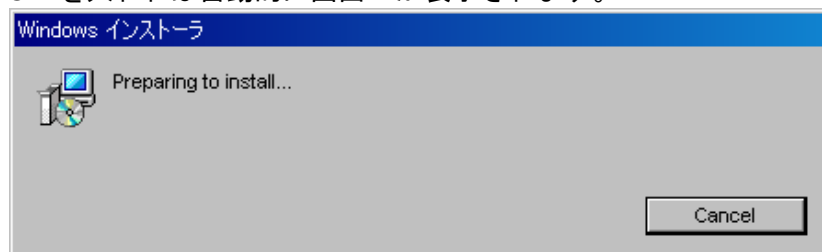
2. コンソールの表示画面に現況気象を表示させ、コンソールにロガーをセットし、専用 USB ケーブルを接続する。ここではまだ PC の USB 端子に接続しないでください。

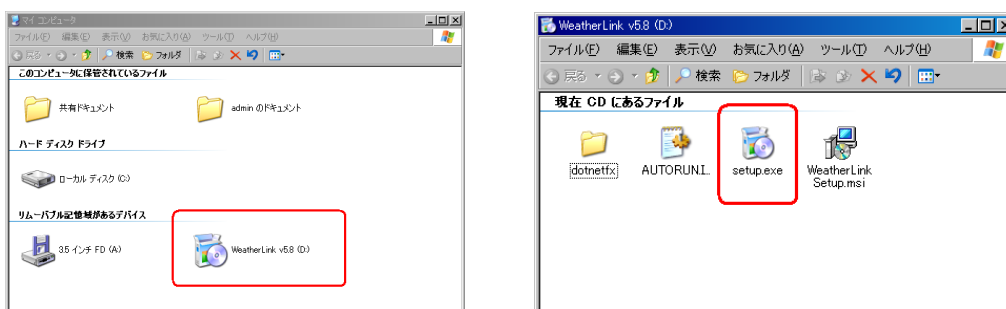
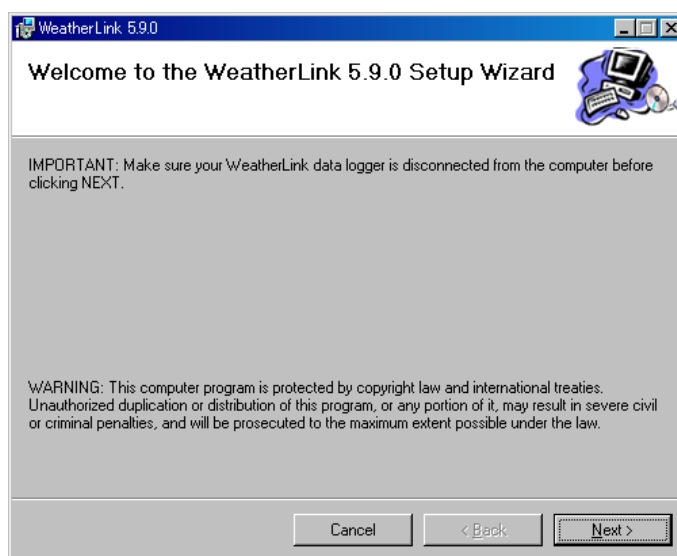
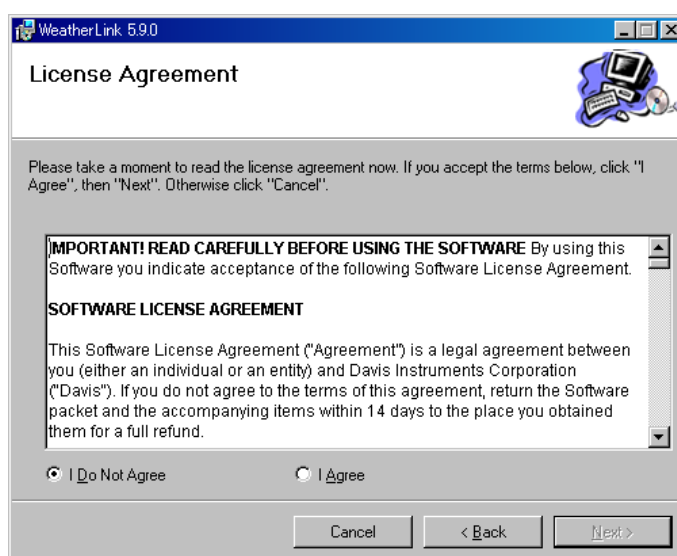
   「コンソール → ロガー → 専用 USB ケーブル」

   6510USB の場合は､ソフトをインストールしてから PC へ接続するようにしてください。

3. 20 ページへ進みます。

インストールをする

PC に CD-ROM を入れれば自動的に画面 1 が表示されます。

画面 1 インストールの準備をしています。

※ 表示されない場合は、下記要領でマイコンピュータから開けて画面 1 を表示するようにしてください。

マイコンピュータでCDまたはDVDドライブを開く setup.exe をダブルクリックしてプログラムを起動します。

プログラムのインストーラーの動作確認画面です。「 **Next >** 」をクリックして画面２ に進みます。
ソフトウェアのライセンス同意書の項目です。英文に続いて日本語訳を記載しておきます。

画面２ ソフトウェアのライセンスの同意書

IMPORTANT! READ CAREFULLY BEFORE USING THE SOFTWARE.
このソフトウェアを使用する前の注意事項

By using this software you indicate acceptance of the following Software License Agreement.
本ソフトウェアを使用するにあたり、以下の事項に同意します。

SOFTWARE LICENSE AGREEMENT
ソフトウェア・ライセンス 同意書

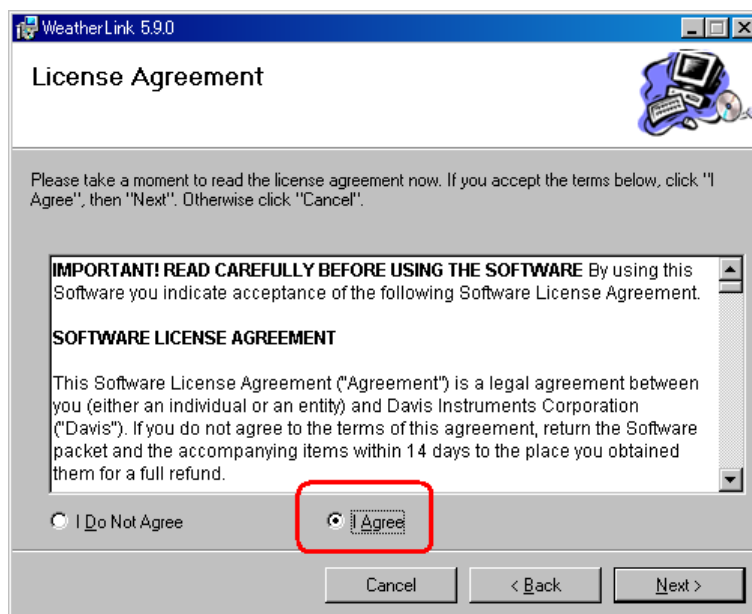
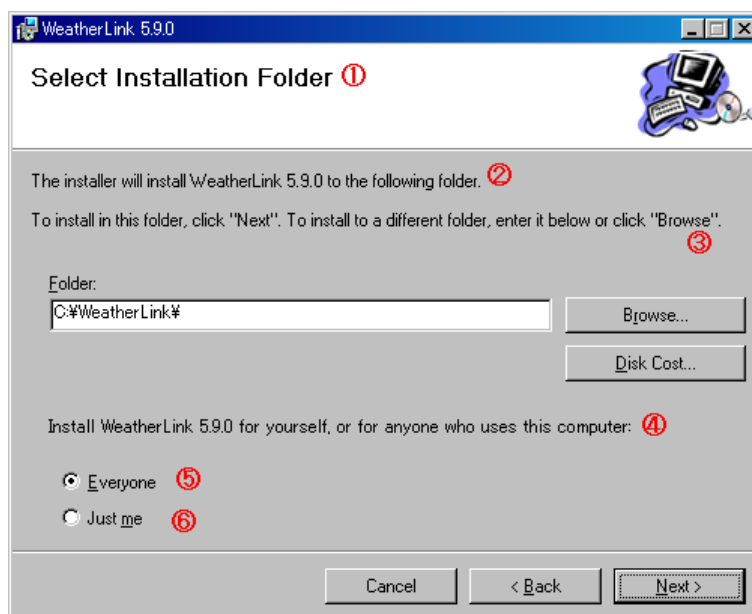
This software license agreement is a legal agreement between you (either an individual or an entity) and Davis Instruments Corporation ("DAVIS"). If you do not agree to the terms of this agreement, promptly return the software packet and the accompanying items to the place you obtained them for a full refund.
このソフトウェア・ライセンス同意書（以下、同意書）は貴方（個人または組織）とデービスインスツルメンツ株式会社 (以下 DAVIS) との法的な同意です。 もし、この同意書の条項に同意しない場合は、すみやかにこのソフトと同梱物をお求めになった場所へ返却し、払い戻しを行って下さい。

GRANT OF LICENSE. The enclosed software is copyrighted material. This license agreement permits you to use one copy of the Davis Instruments software included in 8 this package (the "SOFTWARE") on a single computer. The SOFTWARE is in use on a computer when it is loaded into temporary memory (i.e., RAM) or installed into permanent memory (e.g., a hard disk) of that computer. Note the following conditions to this agreement.
ライセンスの許可同封されたソフトウェアは著作権を有する物です。 このライセンス合意はこのパッケージに含まれる Davis Instruments のソフトウェア（ソフトウェア）を 1 台のコンピュータで使用する為に一度だけコピーする事を許可したものです。ここにおいてコンピュータで使用されるソフトウェアとはコンピュータが起動した時に仮のメモリー(すなわち RAM) または 恒常的なメモリー(例えばハードディスク)で使用される事を意味します。以下に合意の内容を示します。

1. You may not install the software on a network, unless the software is used on only one computer or a separate license is obtained for each additional computer on which the software is used. However, you may install the software on a network for the sole purpose of distribution to additional computers, provided you have a license for each additional computer. Contact Davis Instruments for clarification or information about licenses.
1. あなたは本ソフトをネットワーク上にインストールする事は、ソフトウェアが 1 台のコンピュータで使用されるか、ネットワーク上の他のコンピュータで使用するための追加ライセンスを取得した場合を除き、出来ません。しかしながら、あなたはソフトウェアを他のコンピュータへ配布する目的で追加ライセンスを得る事でインストールする事ができます。ここにおけるライセンスに関する詳細は DAVIS へ問い合わせ下さい。

2. You may not make changes, decompile, or reverse engineer the software.
2. あなたはソフトウエァの変更、コンパイル、または ソフトウエァの逆解析は出来ません。

3. You may not rent, lease, or loan the SOFTWARE, but you may transfer the SOFTWARE,accompanying DAVIS hardware, and user documentation on a permanent basis provided you retain no copies and the recipient agrees to the terms of this Agreement. If the SOFTWARE is an update or has been updated, any transfer must include the most recent update and all prior versions.
3. あなたはこのソフトを貸したり、リースしたり、借りたりすることは出来ません。しかし、あなたはこのソフトに付随する DAVIS の製品、説明書類と一緒に恒久的に、このソフトの写しを所持せず、委譲の相手がこの同意書に内容に合意する条件で委譲できます。もしソフトウェアが更新版、または更新した場合、委譲には最新の更新版と全ての更新前バージョンを含む必要があります。

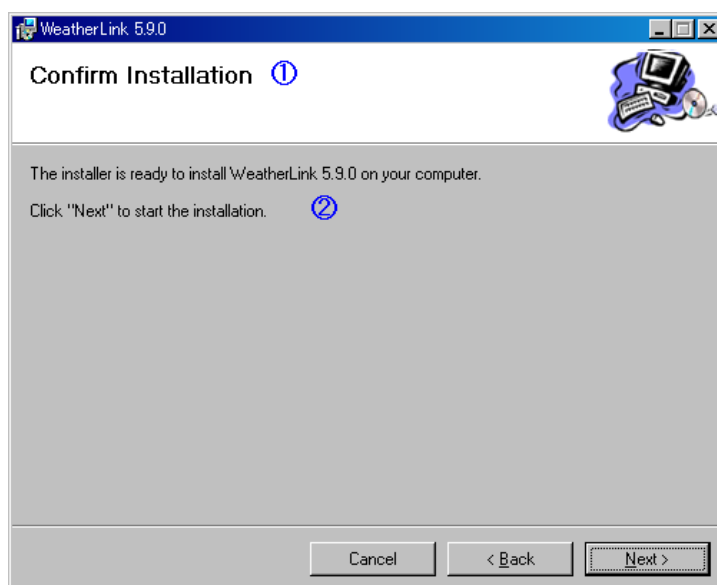
DAVIS reserves the right to terminate this license if there is a violation or default of this agreement. At that time, all copies of the software and documentation must be returned to DAVIS and the customer will be liable to DAVIS for all damages suffered as a result of that violation or default.
DAVIS はこの合意に対しての違反または不履行に対しライセンスを打ち切る権利を有します。違反、または不履行時には全てのソフトウェアならびに関連する書類の写しは DAVIS へ返却されるとし、お客様は違反、または不履行により生じた DAVIS の損害に対する責任を受けるでしょう。

内容に問題がなければ『 I Agree 』の〇にチェックを入れて「 Next > 」をクリックして画面 3 に進みます。

画面 3 インストールフォルダー設定

①インストレーションするフォルダを選択します。
②インストレーションはウェザーリンク 5.9.0 を以下のフォルダへインストールします。
③このフォルダへインストールする場合は「 Next 」ボタンをクリックしてください。もし他のフォルダへインストールする場合には、インストール先のフォルダを指定するか、「 Browse 」のボタンをクリックしてフォルダを指定します。
④ウェザーリンク 5.9.0 のインストールは
⑤○ 全員
⑥○ 私だけ

プログラムをインストールするフォルダを作成します。支障なければ**「 Next > 」**をクリックして画面 4 に進みます。別のフォルダにインストールする場合は、**「Folder: 」**の枠内に直接フォルダ名を入力するか、**「Browse…」**をクリックしてインストールするフォルダを検索し選択してください。

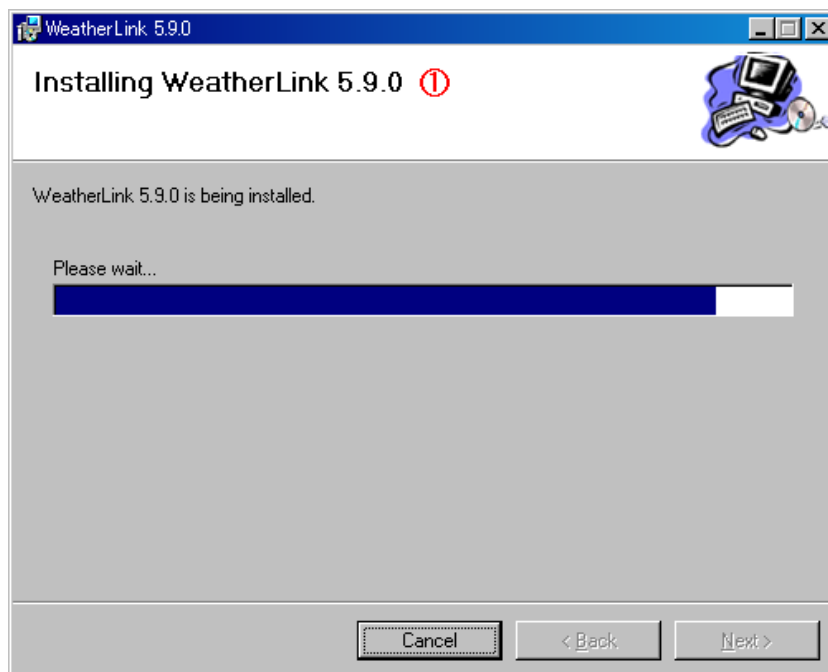
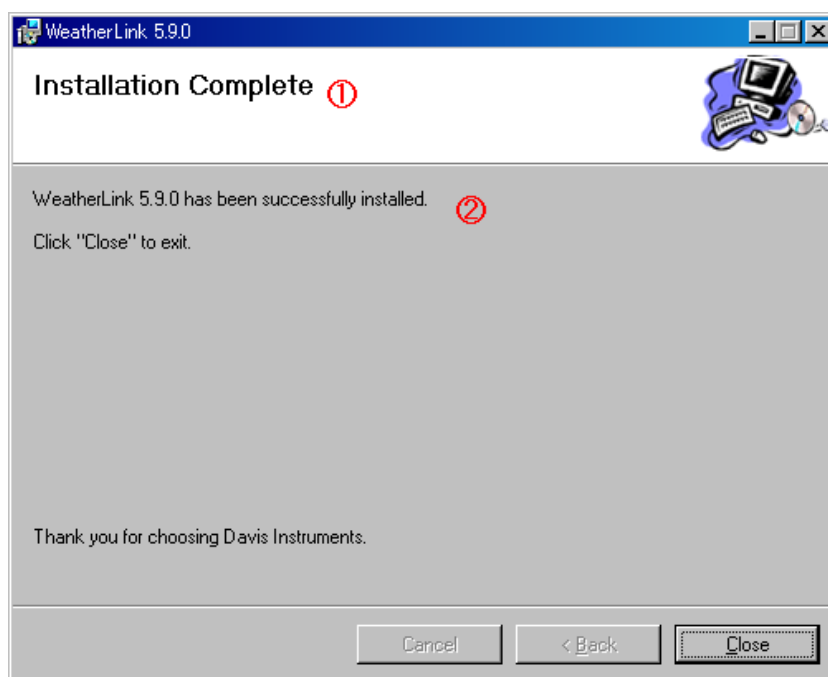
ハードディスクのドライブ選択をする場合は、**「Disk Cost…」**をクリックします。以前のバージョンをアップグレードする場合も、**「Browse…」**をクリックして以前のバージョンのディレクトリあるいはフォルダを検索し、選択してください。

「 Next > 」をクリックして画面 4 に進みます。

※ ウインドウズのバージョンによっては、プログラムフォルダ内にインストールしようとすると、インストールできない場合が発生することがあります。その場合は、マイドキュメント内にフォルダを作成し、インストールすると回避することができる場合があります。
※ すでにウイルス対策ソフトウェアなどがインストールされている場合、インストール事態ができない場合が発生する場合があります。このような場合のときは、そのウイルス対策ソフトの動作を停止し、一旦アンインストールして、ウェザーリンクをインストールした後で、再度ウイルス対策ソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

画面 4 イントールの確認

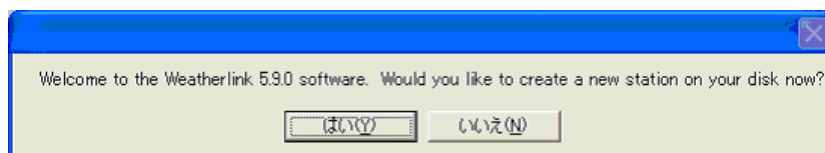
①インストレーションの確認
②ウェザーリンク 5.9.0 のインストールの準備ができました。**「 Next > 」**をクリックするとインストレーションを開始します。

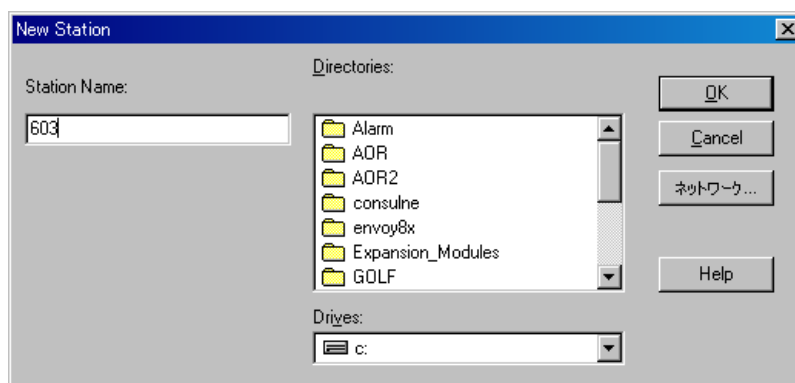
プログラムのインストールの準備ができたことを知らせる画面です。「 **Next >** 」をクリックして画面 5 に進みます。

①ウェザーリンク 5.9.0 のインストール中です。

画面 5 インストール中の画面表示

①インストレーションが完了しました
②ウェザーリンク 5.9.0 は問題なくインストールされました。「 **Close** 」 ボタンをクリックして終了します。

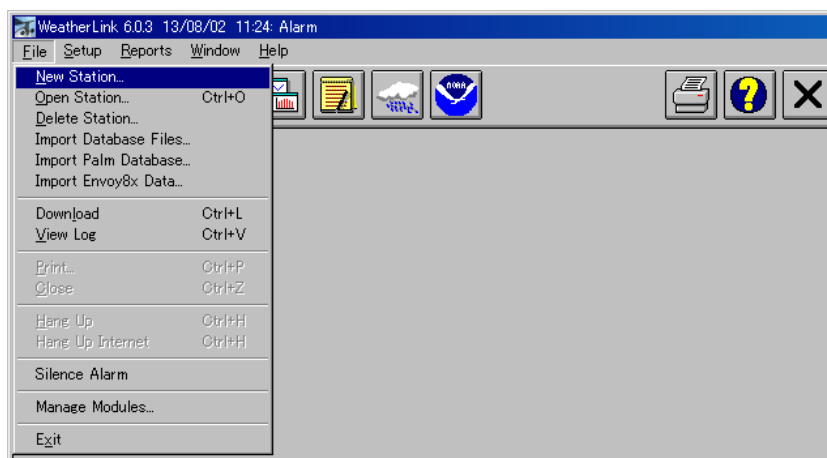
インストール完了の画面を確認します。無事にインストールが終了しましたという画面です。

ステーションの登録

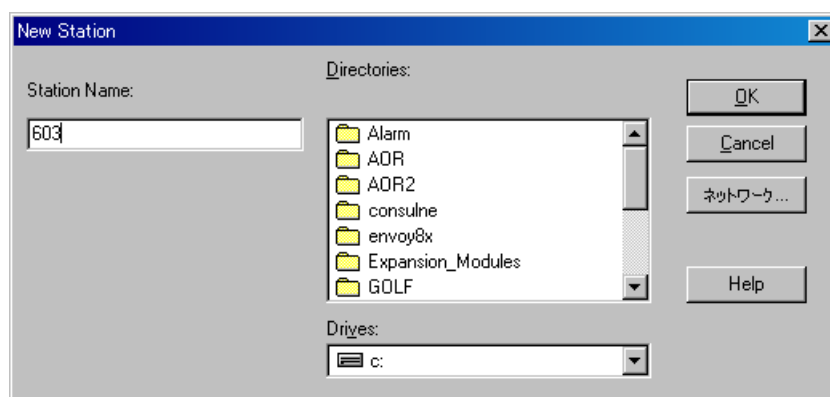
「 **Close** 」をクリックしてインストーラー画面を終了します。すると、直ちにウェザーリンクが立ち上がり、画面 6 のウィンドウが表示されます。

画面 6 ステーション設定のフォルダ設定

ウェザーリンクを動作させるために必要なフォルダの作成 (new station) を促してきます。「 **はい(Y)** 」 を押すと、画面 7 が表示されます。

画面 7 ニューステーションのフォルダ設定画面 上記では、603 の名前としました。

※ 立ち上がらない場合は、デスクトップ上にあるウェザーリンク 6.0.3 のショートカットアイコンをダブルクリックして立ち上げてください。

デスクトップ上のウェザーリンク 6.0.3 のショートカットアイコンをダブルクリック

ウェザーリンク 6.0.3 をスタートさせて、**File** をクリックし、**New Station** を選択しクリックします。

メニュー	ショートカット	説明
New Station...		**新しいステーション**
Open Station...	Ctrl+O	ステーションを開く
Delete Station...		ステーションを削除する
Import Database Files...		データベースファイルのインポート
Import Palm Database...		パームサイズのＰＤＡからのデータのインポート
Import Envoy8x Data...		Envoy8x のデータをインポート
Download	Ctrl+L	ダウンロード
View Log	Ctrl+V	ログファイルの閲覧
Print...	Ctrl+P	
Close	Ctrl+Z	
Hang Up	Ctrl+H	
Hang Up Internet	Ctrl+H	
Silence Alarm		アラームの停止
Manage Modules...		モジュールの管理
Exit		終わり

ここでは、New Station を選択し、観測するデータを保管するためのフォルダを作成します。

画面 7 ニューステーションのフォルダ設定画面 上記では、603 の名前としました。

「Station Name:」の枠内にステーションネームを入力します。上記では、入力例として 603 と入力しています。ステーションネームは自由に設定できます **（半角英数のみ）**。**「 OK 」**を押すとステーションネームの登録が終了します。

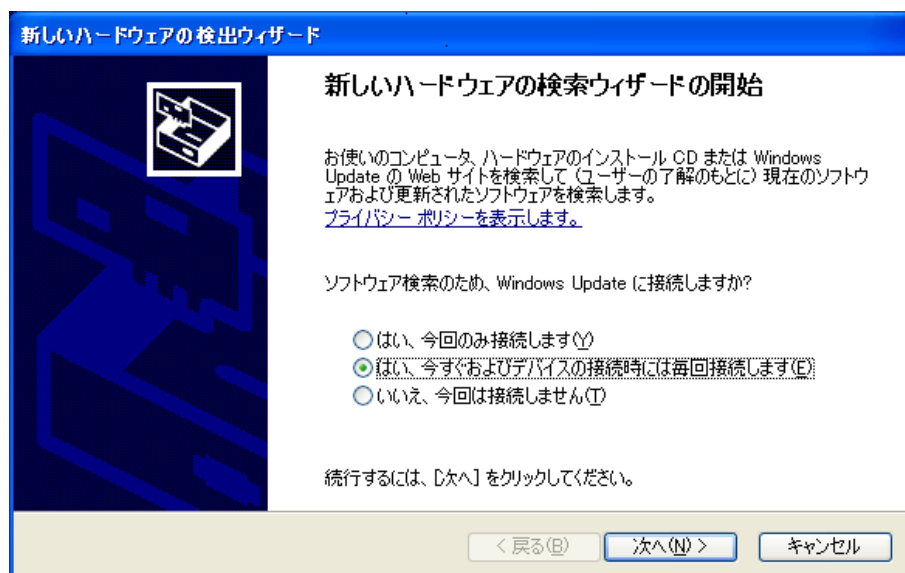
注意 ウェザーリンク VP 用 USB 版をお使いの場合には、CD-ROM をドライブに入れたままにしてください。ロガー接続・設定をしたコンソール(表示器)を付属の USB ケーブルで PC に接続すると、USB ドライバーのインストール動作が始まります。
13 ページの「USB ドライバーのインストールをする」にお進みください。

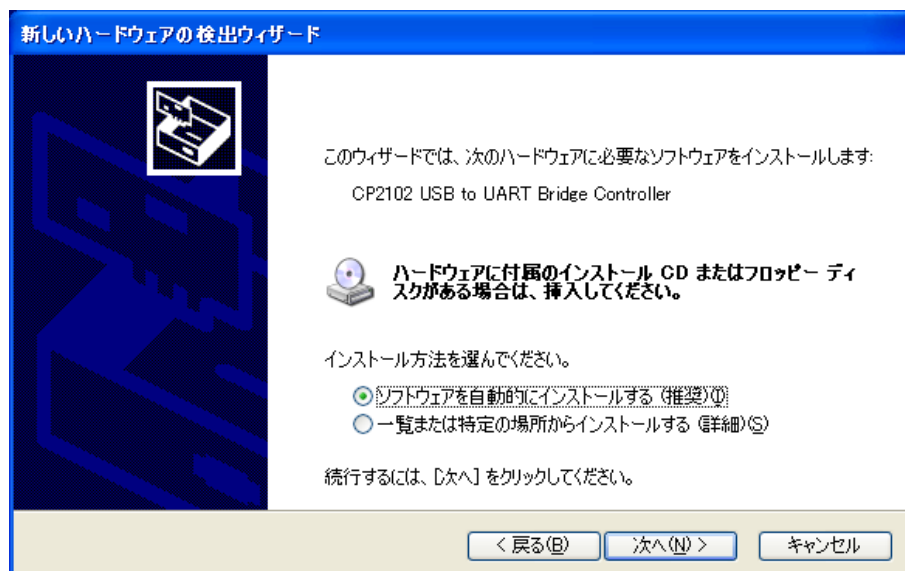
※ ウインドウズのバージョンによっては、ユーザーレベル(スレーブ)での USB ドライバーのインストールができない場合がございます。プロフェッショナルなどのシステムでインストールする場合は、システム管理者にお問い合わせいただくか、ユーザーレベルではない、アドミストレーターレベル(マスター)でのインストールをお願いいたします。

注意 ウェザーリンク VP 用 SER 版をお使いの場合には、この時点で PC との接続を行ってください。 PC との接続が終了しましたら、15 ページの「設定（Walkthrough：ウォークスルー）をする」にお進みください。

注意 このインストール手順の前にヴァンテージプロ 2 の ISS(センサーユニット側)とコンソール(表示器)との間で正常な動作をしており、かつ、ロガーユニットを入れて設定がされていることが大前提となりますのでご注意ください。（4 ページをご参照ください）。

ＵＳＢドライバーのインストールをする

インストール動作のまま、CD-ROM を抜かずに、ロガー接続・設定をしたコンソール(表示器)を付属の USB ケーブルで PC に接続すると、下記の画面 8 が表示されて USB ドライバーのインストール動作が始まります。

画面 8 USB ドライバーの設定画面

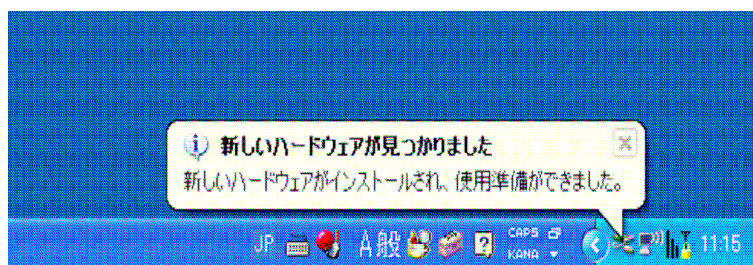
「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します（E)」 の〇にチェックを入れて、**「 次へ（N）＞ 」** を押して画面 9 に進みます。

画面 9　 USB ドライバー インストール設定画面

「ソフトウェアを自動的にインストールする （推奨）(I)」 の〇にチェックを入れて、**「 次へ（N）＞ 」** を押して画面 10 に進みます。

画面 10　USB ドライバーのインストール中の画面

ソフトウェアをインストールしている画面です。インストールが終了すると自動的に画面 11 が表示されます。

画面 11 USB ドライバー インストール完了画面

ソフトウェアのインストールが完了した画面です。「 **完了** 」 を押すと画面 12 が表示されます。

画面 12 USB ドライバーのインストール完了の認識画面

画面 12 が表示されると、USB ドライバーのインストールが完了します。

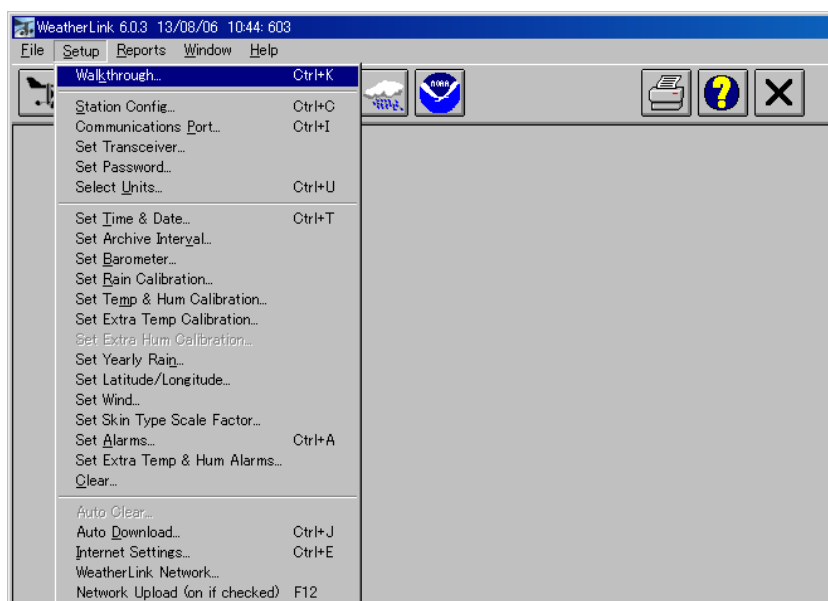
注意　この動作は、USB 版のウェザーリンクを使用している場合の動作で、SER（シリアル）版の場合は表示されません。

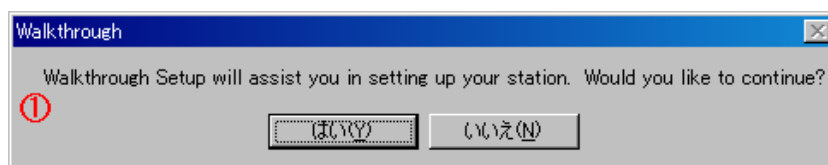
設定（Walkthrough:ウォークスルー）をする

ウォークスルーは、ヴァンテージ・プロ２のコンソールに内蔵させた、ロガー部分の設定および、コンソールの各種設定をするための動作です。各種設定画面が次々と現れてすべての項目を手順良く設定をすることができます。
ウォークスルー動作はメニュー表示の下部の設定(Station Config から始まる項目)をすべて、設定することになります。
コンソールのロガー部のコネクターとケーブルを接続し、PC との接続もしておきます。

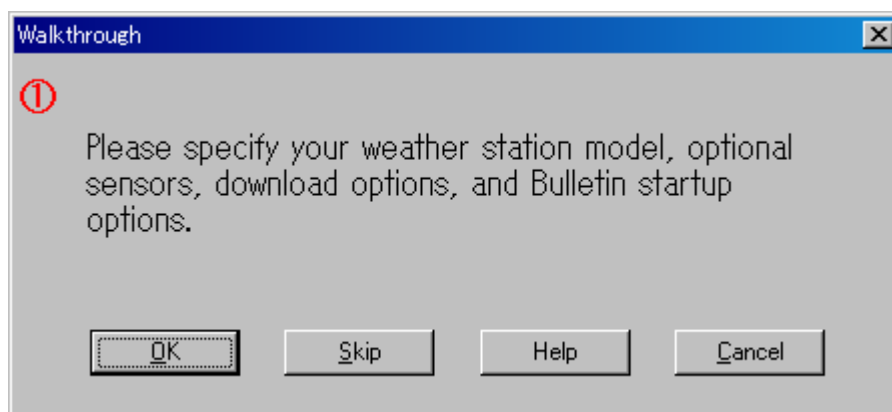
デスクトップ上のウェザーリンク 6.0.3 のショートカットアイコンをダブルクリック

● ウォークスルーを呼び出す

Setup のメニューをクリックすると、一番上に **Walkthrough** が表示されています。その **Walkthrough** を選択しクリックしてください。

画面 13 ウェザーリンクの Setup のメニュー表示画面

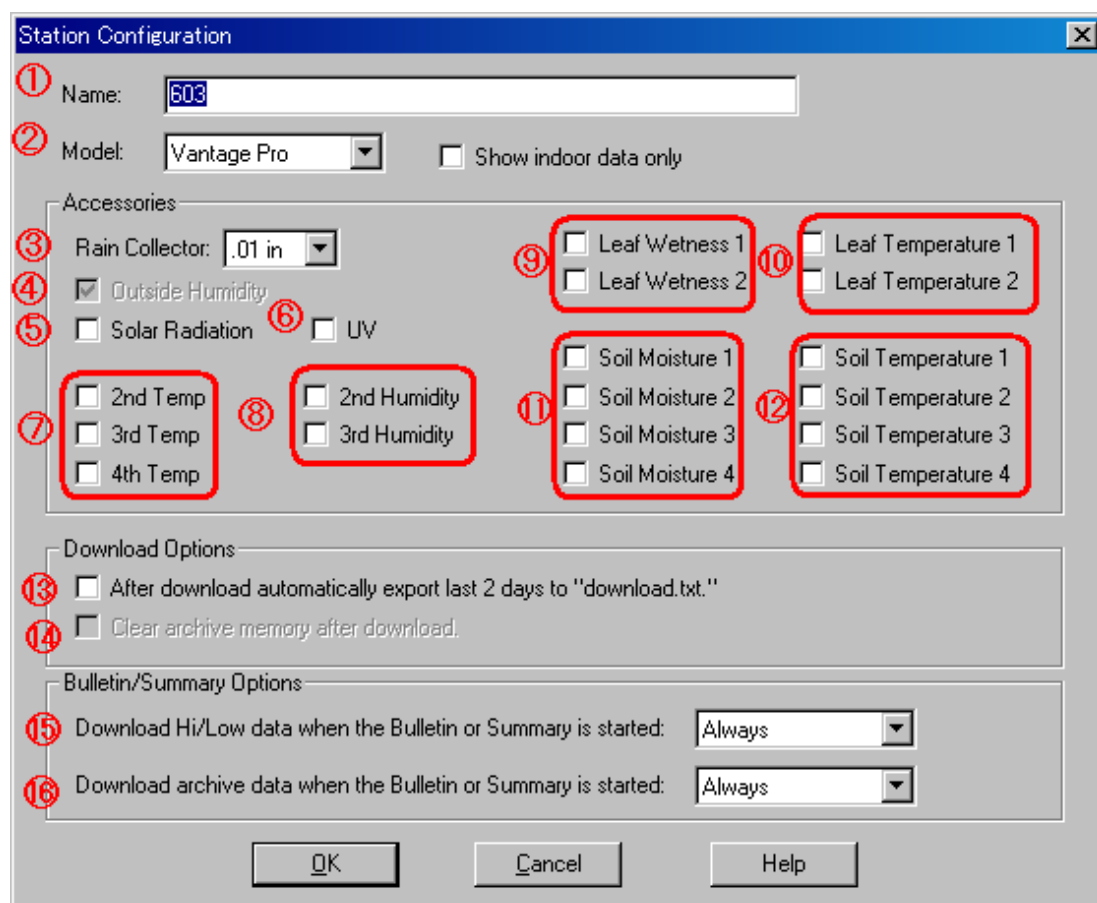
ウォークスルーを選択すると 画面 14 が表示されます。

画面 14 ウォークスルー実行の確認画面

①ウォークスルーはステーションの設定を行うための助けとなります。ウォークスルーを実行しますか？

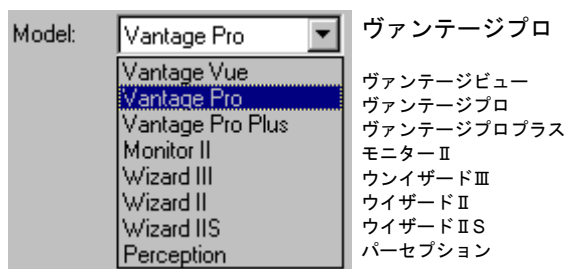
「 はい(Y) 」 を押して進めます。画面 16 が表示されます。

画面 16 次の項目を示す 案内画面

①お使いになるウェザーステーションの型名、追加のセンサー、ダウンロードのオプション、ブリテン（掲示板）の開始オプションを設定します。

「 **OK** 」 を押して進めます。 画面 17 が表示されます。

● ステーションコンフィグの設定

画面 17 ステーション コンフィグの設定画面

①名称　　　　　画面一番上の 「Name:」 が、11 ページまたは 12 ページで登録したステーションネームであることをご確認ください。違っている場合は訂正してください。

②型名　　　　　ご使用のモデルを選択してください。ヴァンテージプロ 2 の場合は「Vantage Pro」を、ヴァンテージプロ 2 プラス（日射センサー・ＵＶセンサー付き）の場合は、「Vantage Pro Plus」 を選択してください。

画面 18 モデル設定 BOX 画面

③雨量計　　　　転倒マスを工場出荷時のままで使用する場合は **「. 01 in」** を、転倒マスをメトリックアダプタに交換した場合は **「. 2mm」** を選択します。

④屋外湿度　　　屋外の湿度　ヴァンテージプロを選択すると自動的にチェックされます。

⑤日射量　　　　単独で日射センサーを取り付けた場合には、「Solar Radiation」のチェックボックスをクリックしてください。

⑥紫外線　　　　単独で UV センサーを取り付けた場合には、「UV」 のチェックボックスをクリックしてください。

⑦第 2-4 温度　　オプションのワイヤレスステーションの拡張温度

⑧第 2-3 湿度　　オプションのワイヤレスステーションの拡張湿度

⑨葉面湿潤　　　オプションのワイヤレスステーションの葉面湿潤

⑩葉面温度　　　オプションのワイヤレスステーションの葉面温度

⑪土中湿度　　　オプションのワイヤレスステーションの土中湿度

⑫土中温度　　　オプションのワイヤレスステーションの土中/水中温度

⑦～⑫第 2-4 温度、第 2-4 湿度、葉面湿潤、葉面温度、土中湿度や土中温度は、ワイヤレス式モデルのオプションのワイヤレス・温度ステーション、ワイヤレス温度/湿度ステーションワイヤレスリーフ＆ソイルモイスチャ/温度ステーションを使用する場合には、該当するチェックボックスをクリックしてください。

⑬ダウンロード完了後自動的に最後の２日間のデータを"download.txt" としてエクスポートします。

⑭メモリー内の記録をダウンロード後、自動的に消去します。

⑬･⑭「Download Options」の枠内の『After download ～ “download. txt”』のチェックボックスをクリックすると、ダウンロードした日とその前日の記録をダウンロードする度に自動的にテキストファイル “download.txt” に作成することができます。チェックを入れなくても測定に何も影響はありません。

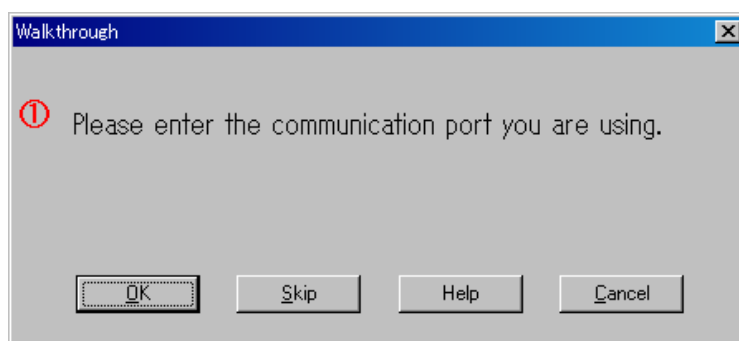
⑮ブリテンまたはサマリーの開始時に Hi/Lo データをダウンロードします。

⑯ブリテンまたはサマリーの開始時に メモリーに記録されたデータをダウンロードします。

⑮･⑯「Bulletin/Summary Options」 の枠内は、「Bulletin」 または 「Summary」 を起動させたときのダウンロードのオプションです。上段の 『Download Hi/Low ～is started:』 はハイ＆ローのデータのダウンロード、下段の 『Download archive～ is started:』 は蓄積データのダウンロードです。

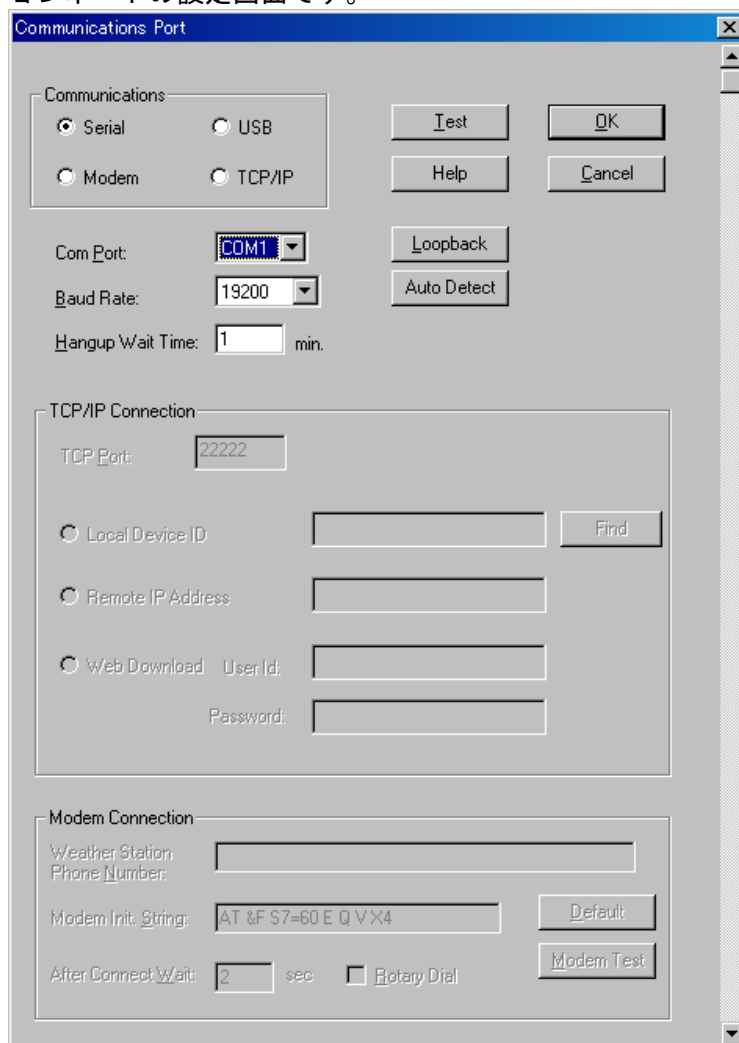
『Always』（毎回）、『Never』（不要）、『Confirm at each time』（その都度確認）の中から選択してください。 どの設定でも測定に何も影響はありません。

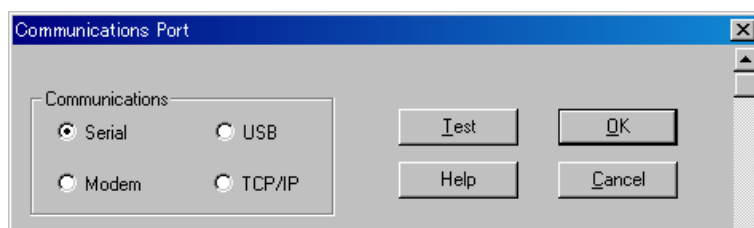
「 OK 」 を押すと画面 19 が表示されます。

● コミュニケーションポートの設定

画面 19 コミュニケーションポート設定確認画面

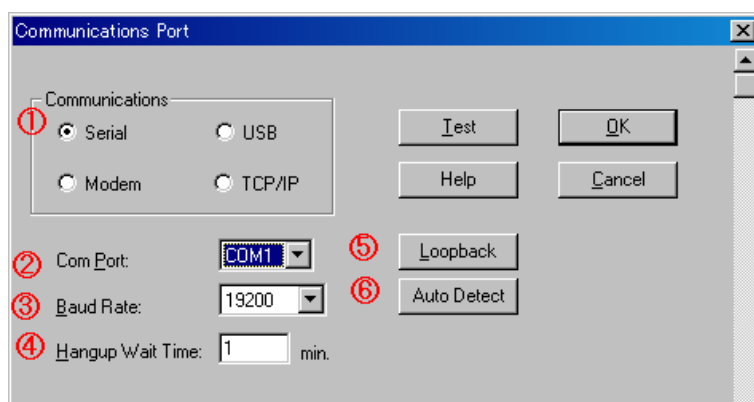
①使用しているコミュニケーションポートについて入力してください。

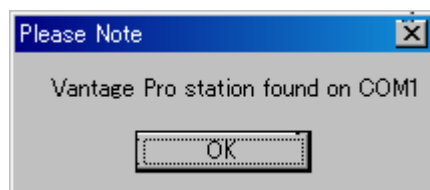
「 OK 」 を押して進めます。 画面 20 が表示されます。

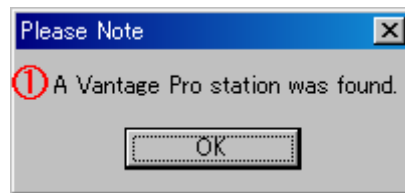
コミュニケーションポートの設定画面です。

画面 20 通信設定画面

ウェザーリンクを使用する上で、PC との通信をするために非常に重要な設定です。

PC との接続のための基本設定画面

※ウェザーリンクの 6510SER を使用の場合は、OSerial にチェックを入れます。
※ウェザーリンクの 6510USB を使用の場合は、OUSB にチェックを入れます。

● シリアル接続の場合 (6510SER)

画面 21 シリアル接続の場合

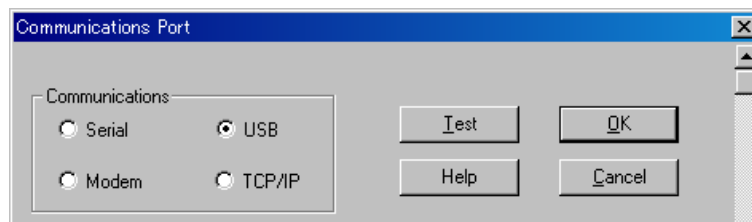
①シリアル接続の場合に選択します。
②COM ポートの選択をします。
　接続する PC の COM 端子によって設定を変更してください。
③ボーレートは通信スピードです。19200 に設定します。
　表示器の初期設定において、SERIAL BAUD 19200 となっている場合です。延長ケーブルを使って、表示器と PC の間が長くなる場合は、スピードを遅くする必要があります。この場合は、表示器の設定スピードも遅く設定しなおし、お互いのスピードを合わせる必要があります。
④ハングアップ時の待機時間です。通常は 1min に設定してください。
⑤ループバックは正常な設定・接続がされているかテストするボタンです。
⑥自動検出ボタンです。接続した PC の COM 番号が不明の場合に使用します。
　6510USB に付属されている”ループバックコネクタ”を PC に接続したケーブルと付け替えた後に押してください。自動的に COM 端子を探して COM 番号を知らせてきます。

画面 22 ポート確認画面

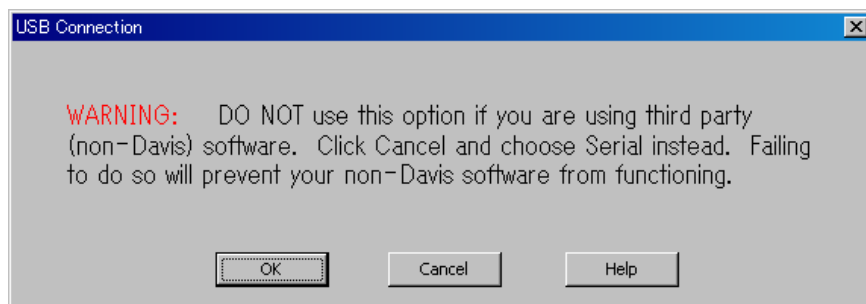
正しい設定になっているかどうかを確かめるために、一度「 **TEST** 」 を押してください。

認識設定画面です。

①Vantage Pro が見つかりました。

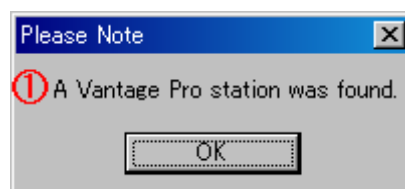
「 **OK** 」 を押して進めます。22 ページの 画面 27 が表示されます。

● USB 接続の場合 (6510USB)

USB 接続をする場合、シリアル接続とは違い自動で各種設定が行われます。

画面 23 シリアル接続の画面

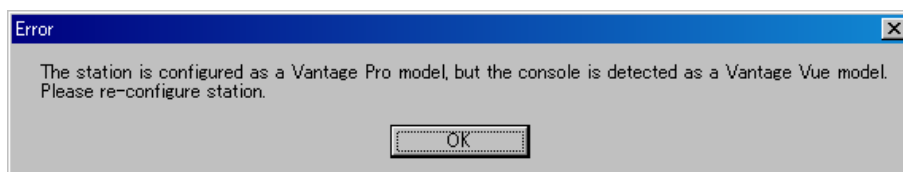
『Communications』 枠内の 「 ○ USB 」 にチェックを入れます。

画面 24 注意勧告画面

注意：DAVIS 製以外のソフトウェアを使用する場合は、このオプションは選択しないで下さい。キャンセルボタンを押すか、シリアル通信を選択して下さい。この指示に従いませんと、DAVIS 製以外のソフトウェア動作の障害となります。

「 **OK** 」 を押して進めます。 画面 25 が表示されます。

画面 25 ポート認識画面

①Vantage Pro (ヴァンテージプロ)が見つかりました。

「 **OK** 」 を押して進めます。 画面 26 になります。

画面 24 で「 OK 」 を押して下記の画面が表示される場合

意味　Vantage Pro と設定されているが、Vantage Vue と認識されました。コンフィグ設定をしなおしてください。

※DAVIS 社の商品で、ヴァンテージプロ 2 の同等商品で、ヴァンテージビューをお使いの場合は、ステーションコンフィグ設定のモデル名を Vantage Veu に変更してください。

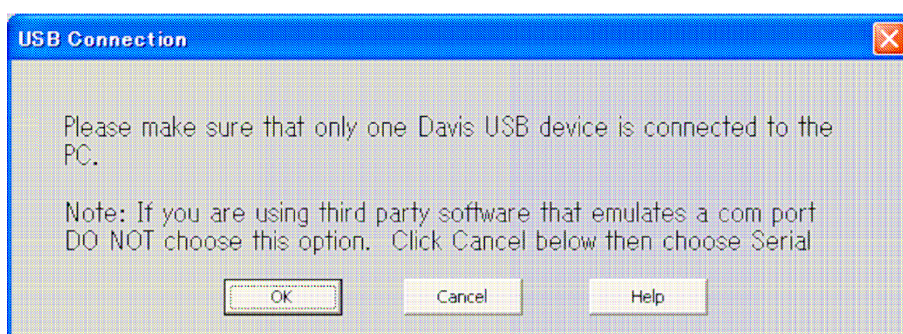
画面 24 で「 OK 」 を押して下記の画面が表示される場合

意味　DAVIS 製の USB デバイスがみつかりません。DAVIS 製の USB デバイスを一つだけ接続し、再度トライして下さい。

※これは、USB ドライバーが正しくインストールされていない場合や複数のヴァンテージ・プロ 2 が接続されている場合に表示されます。

対策 1　本書 13 ページからの USB ドライバーのインストールを再度こころみてください。

対策 2　このウェザーリンクソフトウェアは同時に複数のロガーの接続を選定としてないソフトウェアです。接続されているロガーがひとつだけであることを確認してください。6510USB でもシリアル設定が可能です。

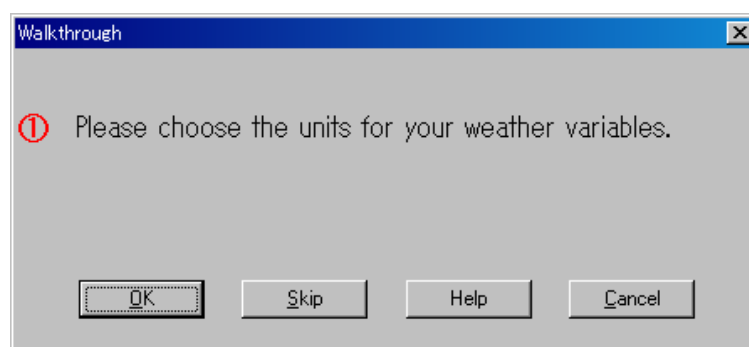
「 OK 」を押して進めます。画面 23 に戻りますので「 Cancel 」を押してウェザーリンクを終了させて、上記対策を対応して改めてウォークスルーを動作させて設定してください。

画面 26 USB 接続の再確認画面表示

意味　PC には DAVIS 専用 USB データロガーは 1 つだけしか接続されていないことを確認してください。
また、コミュニケーションポートを（擬似）変換するソフトウェアを使用中の場合は、一旦「Cancel」 をクリックし、19 ページの画面 21 に戻って 「○ Serial」 にチェックを入れてシリアル設定を行ってください。

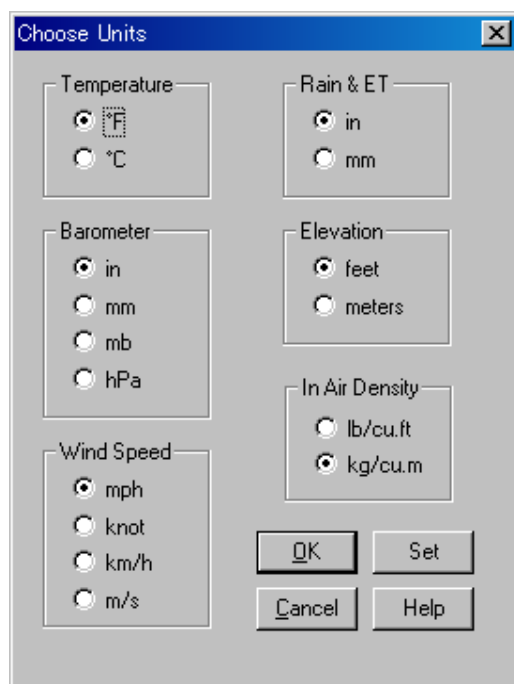
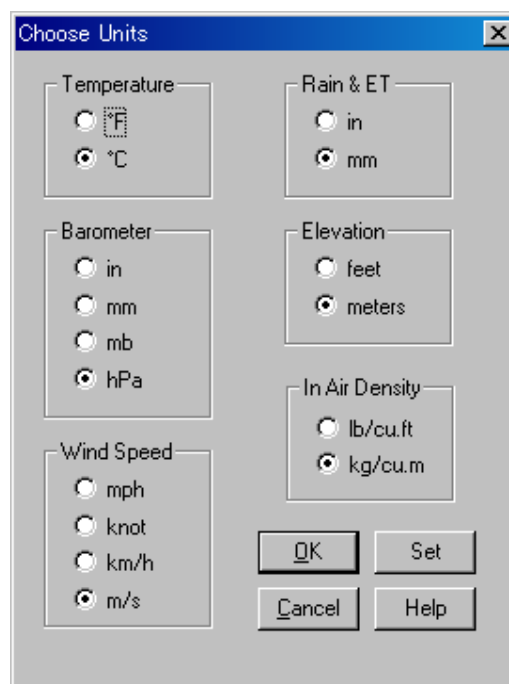
PC に複数の DAVIS 専用 USB データロガーが接続されていると、目的のステーションとは別のステーションを認識してしまう恐れがありますので、ウォークスルー設定の際には USB データロガーの PC への接続は 1 つだけにしてください。

DAVIS 専用 USB データロガーは 1 つだけしか接続されていないことが確認できたら **「 OK 」** を押してください。正しい設定になっているかどうかを確かめるために、一度 **「 TEST 」** を押してください。

20 ページに進み、画面 23 の画面を確認してください。
「 OK 」 を押して進めます。 画面 27 になります。

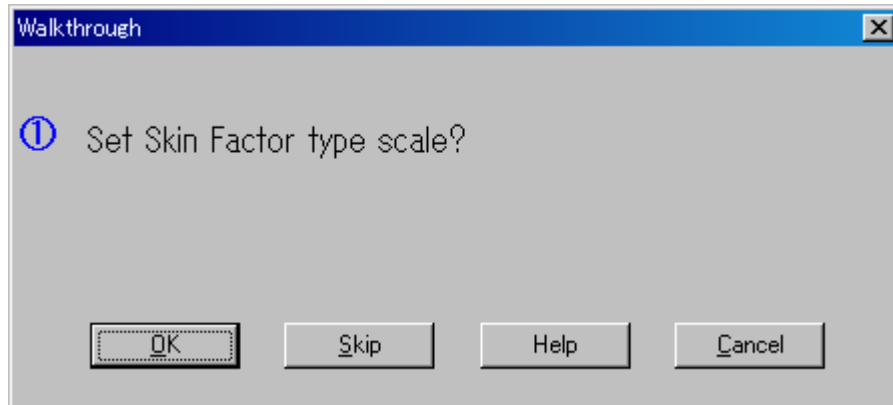
● 表示単位の設定

画面 27 値（単位）の設定

①ご使用になるウェザーステーションの変数を選択して下さい。

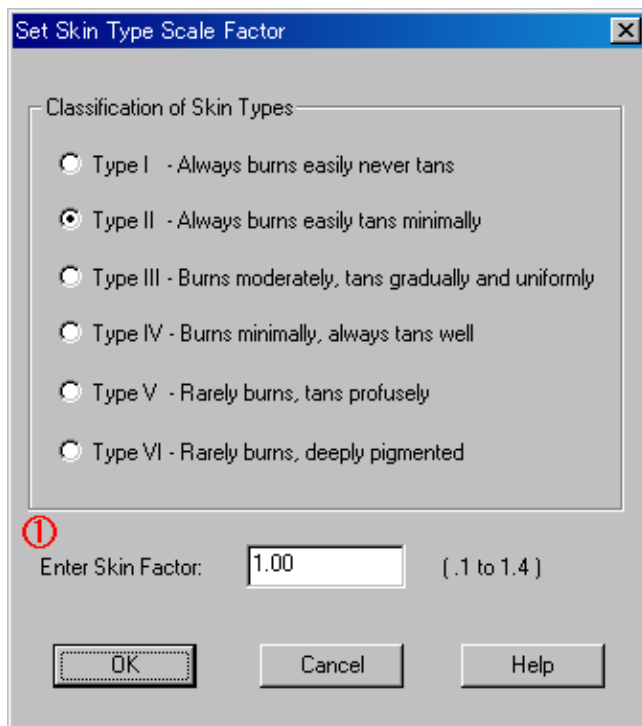
「 OK 」 を押して進めます。 画面 28 になります。

画面 28 初期設定の単位

画面 29 日本国内の単位設定

「 OK 」 を押して進めます。 画面 30 または、画面 32 になります。

● UV センサーの設定(オプション)

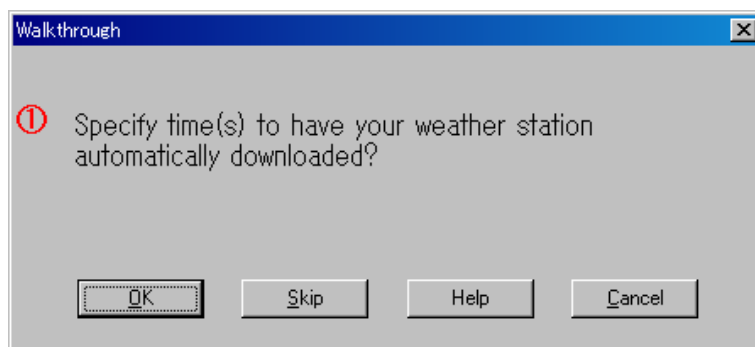
この画面は、オプションのＵＶセンサーを取り付けて、ステーションコンフィグにて UV にチェックを入れている場合に表示されます。オプションの接続、コンフィグでのチェックをいれて無い場合は表示されません。

画面 30 スキン・ファクターの設定確認画面

①スキン・ファクター（肌の係数）の目盛を設定しますか？

「 OK 」 を押して進めます。

画面 31 スキン・ファクターの設定画面

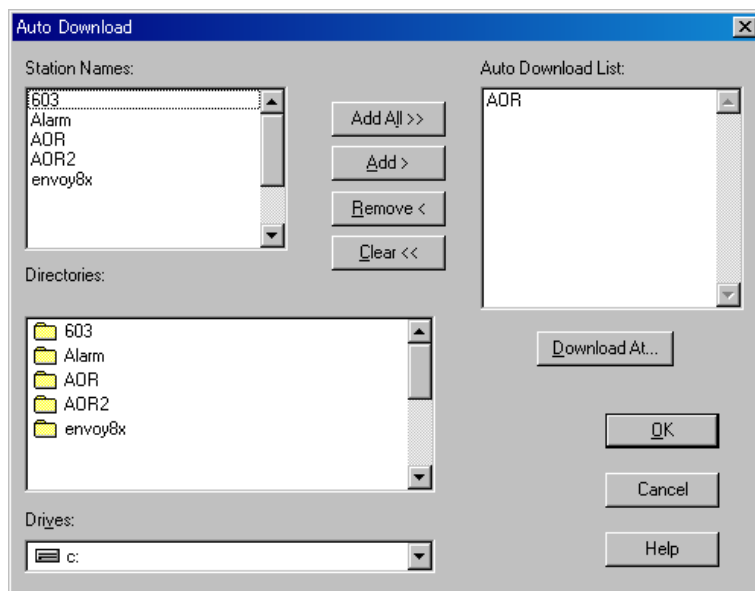
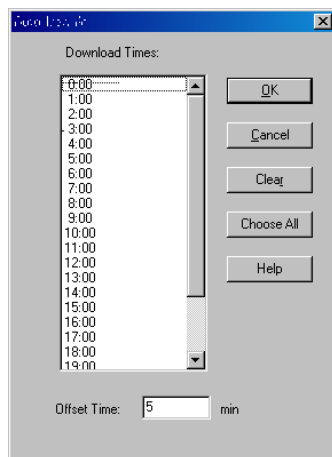
タイプ１- 簡単に日焼けするが小麦色にはならない。
タイプ２- 簡単に日焼けし、ごくわずか小麦色になる。
タイプ３- 少々日焼けする。 だんだんと均一的に小麦色となる。
タイプ４- あまり日焼けはしないが何時でも小麦色となる。
タイプ５- めったに日焼けしないがかなり小麦色となる。
タイプ６- めったに日焼けしないが色素沈着を起こす。

①スキン・ファクターを入力 （.1 ～ 1.4）
※ 初期値の 1.0 で問題はないでしょう。

「 OK 」 を押して進めます。画面 32 になります。

● オートダウンロード設定

画面 32 オートダウンロードの設定確認画面

①ご使用のウェザーステーションが自動ダウンロードする時間を設定して下さい。

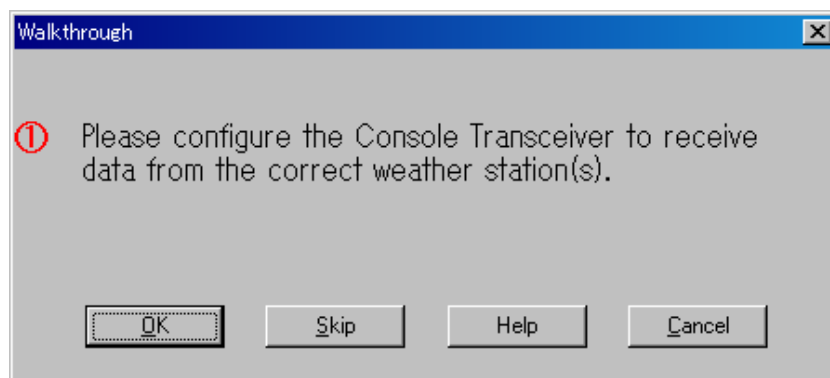
「 OK 」 を押して進めます。画面 33 になります。

画面 33 オートダウンロード設定画面

画面 34 時間設定

設定 1 Station Names:からオートダウンロードするステーションを選択します。「 Add > 」を押します。
Auto Download List にオートダウンロードするステーションネームが表示されます。

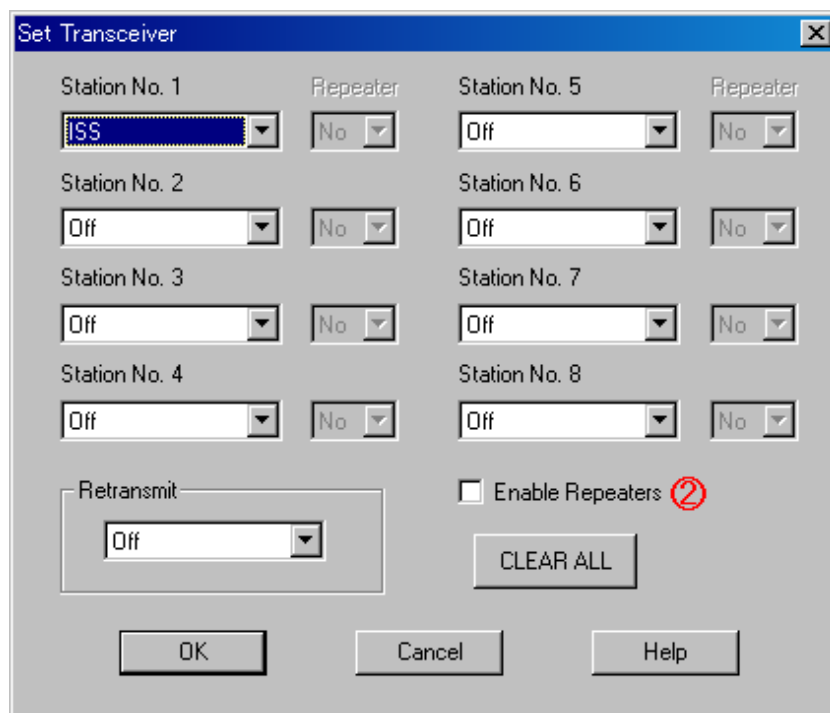
設定 2 Auto Download List の下の「 Download At.. 」を押します。
画面 34 が表示されます。ダウンロードさせる時間の時を選択します。

設定 3 時間表示の下の Offset Time に時間設定の分を設定します。

「 OK 」 を押して進めます。画面 35 になります。

● コンソールと各センサー側の通信設定

画面 35 トランシーバの設定確認の画面

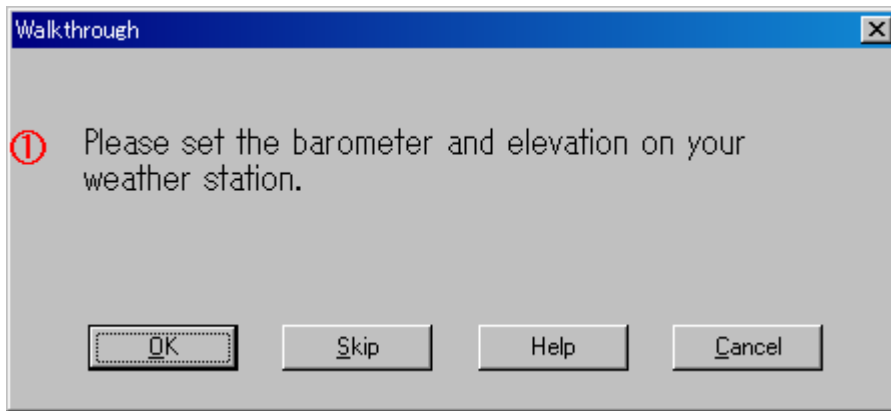
①正しいウェザーステーションからのデータを受信するためにコンソールのトランシーバの設定を行ってください。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 36 になります。

画面 36 トランシーバ設定画面

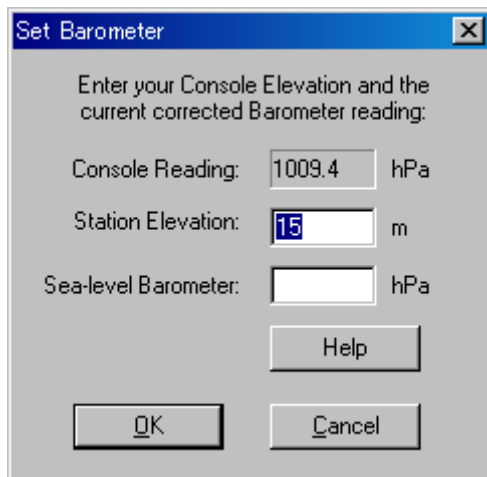
②再送信 リピータを有効にします

ケーブル式ヴァンテージプロ 2 の場合は、画面と同じ Station No1 に ISS を設定します。ワイヤレス式のシステムを使用の場合は、設定した ID 番号とシステム ID を確認して設定してください。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 37 になります。

● 気圧と高度の校正

画面 37 気圧の設定確認画面

①ご使用になるウェザーステーションの標高と気圧を設定して下さい。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 38 になります。

コンソールを設置している場所の標高と正確な気圧の値を入力します。

コンソール上の値		hPa
設置場所の標高		m
海面気圧		hPa

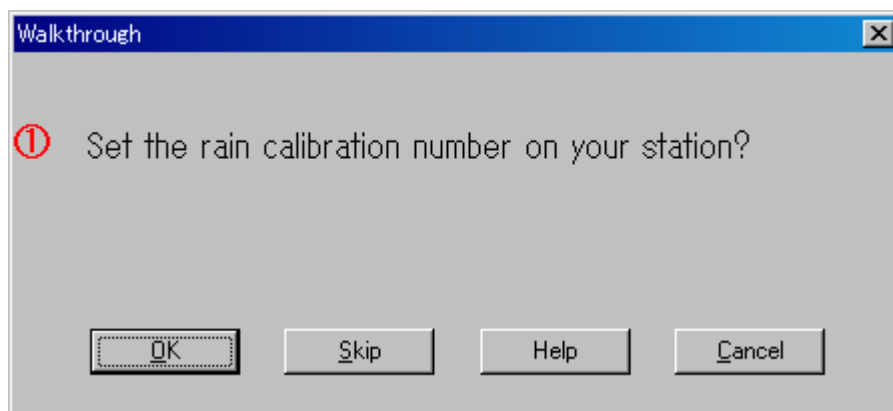
現在の気圧を補正する画面です。標高は気圧変動の要素のひとつです。できるだけ正確な標高(コンソール設置場所)を入力してください。

画面 38 気圧の設定

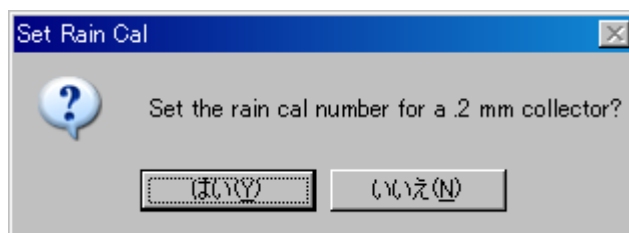
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 39 になります。

注意　実際の設置場所とテストして仮設定をしている場所と高低差がある場合は、テストしている場所の標高を入力してください。設置予定場所を入力してしまうと、気圧表示がされない場合があります。(想定されていない気圧を計測した場合など･･･)

動作テスト終了後に、設置予定場所にて再度高度設定を変更してください。
(表示器の初期設定の変更だけで OK です。)

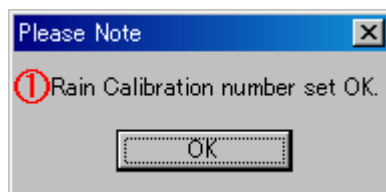
● 雨量計の校正と単位の確認

画面 39 雨量の設定確認画面

①ご使用になられるウェザーステーションの雨量計の補正値を設定しますか？

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 40 になります。

画面 40 設定確認画面

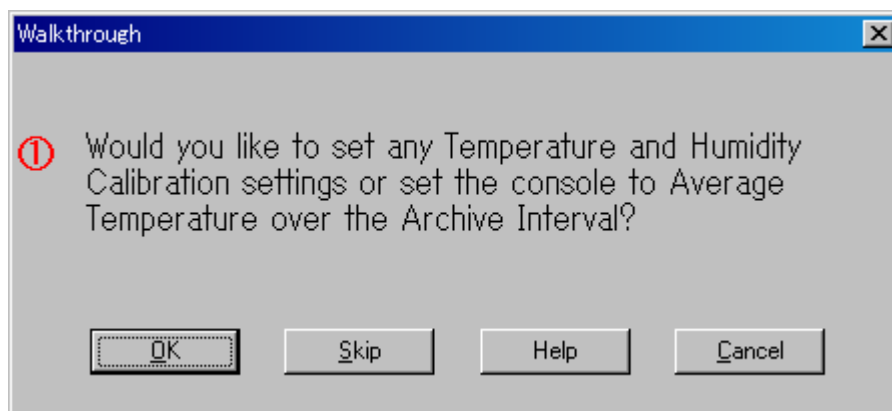
？ 2mm を 雨量計の補正値としますか？

※レインコレクタの転倒枡のメトリックアダプタを交換することで、0.2mm 対応となります。メトリックアダプタを交換していないのであれば、「 **いいえ(N)** 」を押してください。

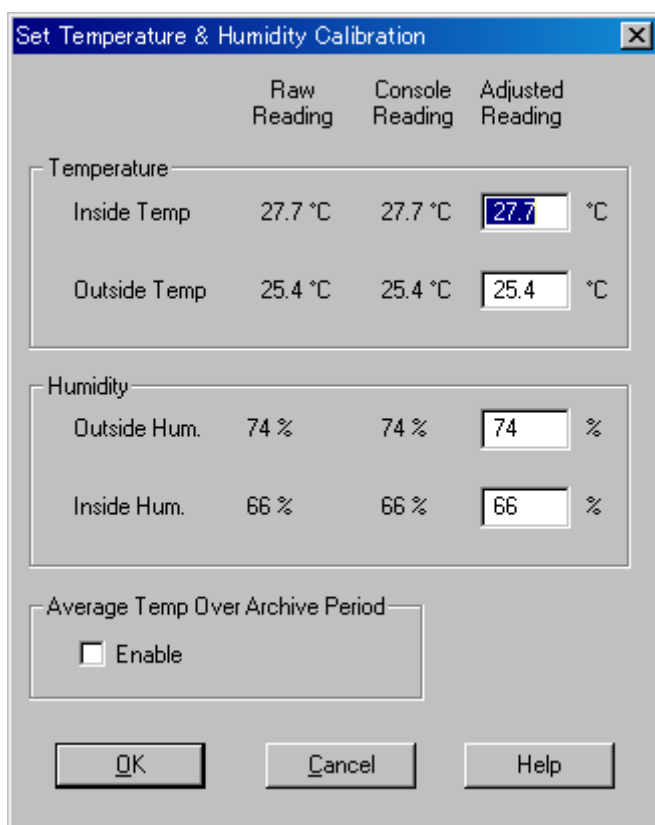
メトリックアダプタを交換している場合は、「 **はい(Y)** 」 を押して進めます。画面 41 になります。

画面 41 補正確認画面

①雨量補正値は正しく設定されました。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 42 になります。

● 気温（温度）と湿度の校正

画面 42 温度・湿度簿意の確認画面

①温度計と湿度計の補正を行いますか、または記録時間での平均値でコンソールを設定しますか？

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 43 になります。

それぞれの白枠の中に補正した数値を入力します。

温度

屋内温度

屋外温度

湿度

屋外湿度

屋内湿度

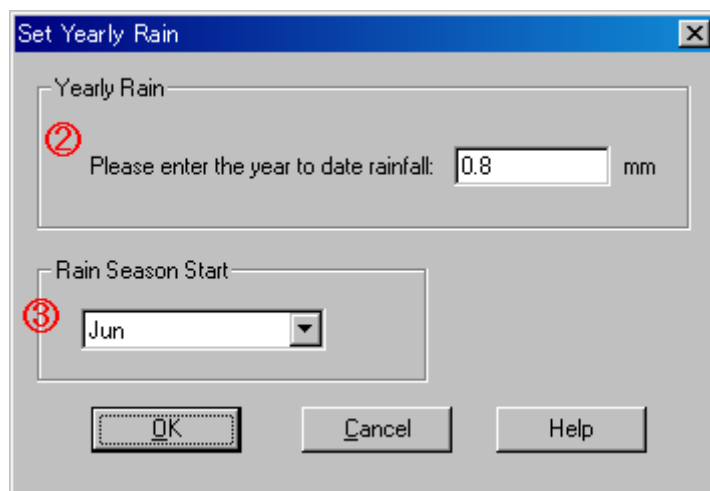
画面 43 温度・湿度補正画面

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 44 になります。

● 年間雨量の入力と雨季の始まりの設定

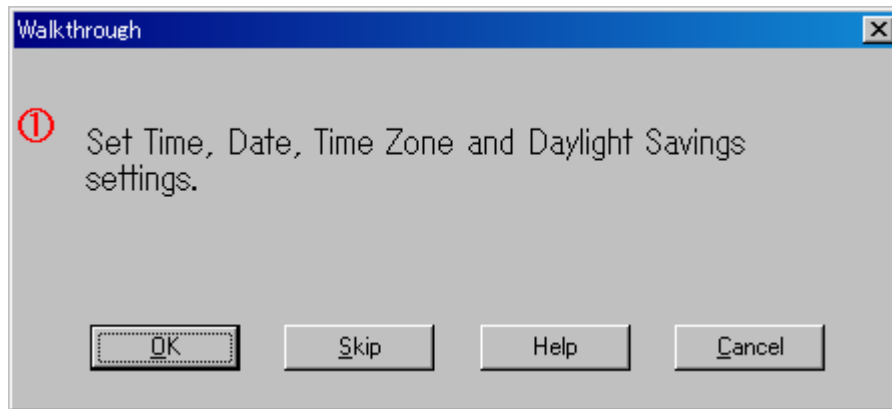
画面 44 雨季設定の確認画面

①雨季が始まる月を入力し、今日までの年間降雨量の値を入力して下さい。

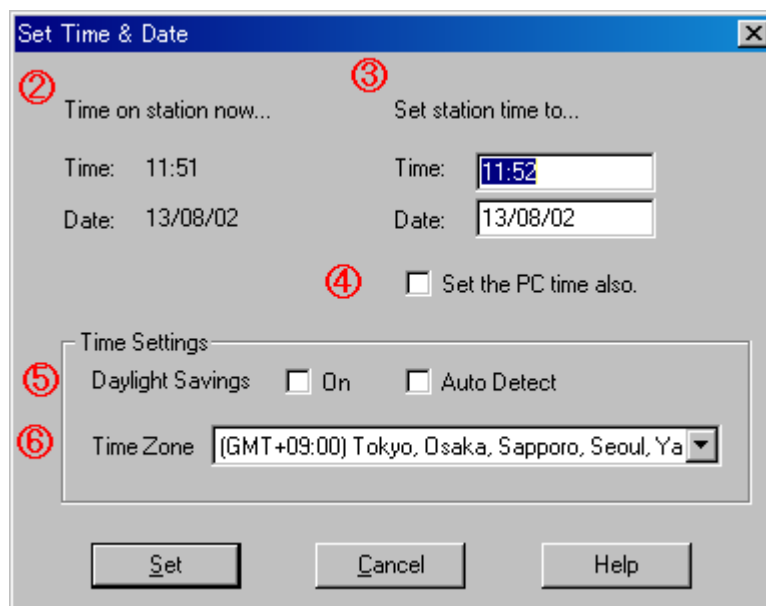
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 45 になります。

画面 45 年間雨量と雨季月の設定画面

②今日までの年間降雨量の値を入力して下さい。
③雨季が開始する月

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 46 になります。

● 日付、タイムゾーンなどの設定

画面 46 日付・タイムゾーン設定確認

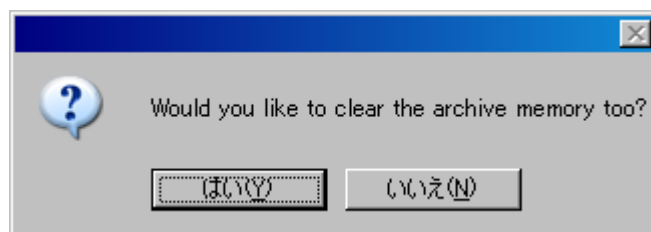
①時間、日付、タイムゾーン（時間帯)、サマータイムを設定します。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 47 になります。

画面 47 日付・タイムゾーン設定画面

②ステーションの現在の日時
③新しい設定　　　　　　白枠の中に　現在の時間と日付を入力します。
④PC の時間も設定します。　PC の時間に合わせる場合にチェックを入れます。
⑤サマータイム 自動検出　　日本国内の場合はどちらもチェックはしません。
⑥タイムゾーン　　　　　　明記の東京・大阪・札幌を選択します。

各種項目を確認後、修正・変更を入力してください。

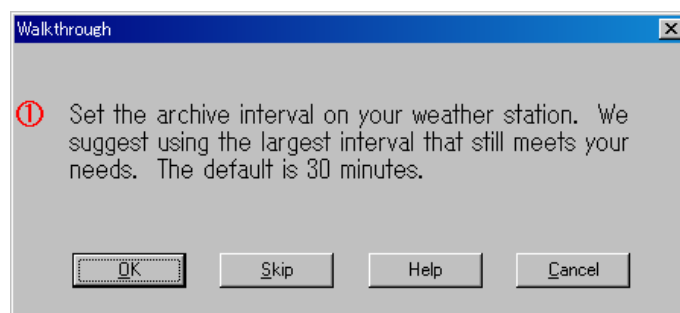
「 **Set** 」 を押して進めます。画面 48 になります。

● メモリーのクリアー

画面 48 メモリークリアーの確認画面

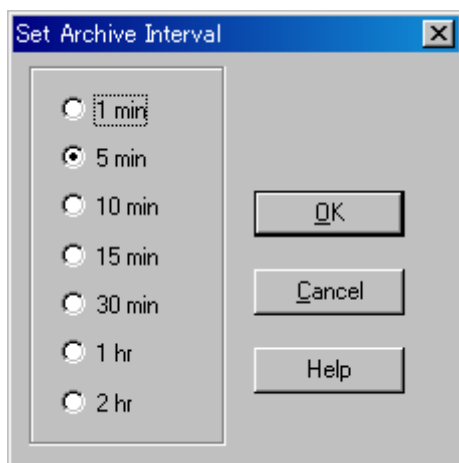
?記録メモリーの内容を消去しますか？

※はじめてのウォークスルーの場合や、ダウンロードの後に再設定をする場合は、**「 はい(Y) 」** を、ダウンロードの前の場合は、**「 いいえ(N) 」** を押して次に進みます。

「 はい(Y) 」 を押して進めます。画面 49 になります。

● 測定間隔の設定

画面 49 インターバルタイム確認画面

①ご使用になるステーションのメモリーへの記録インターバル（記録間隔）を設定します。ご使用になられる観測の記録インターバル（記録間隔）の中から最長の間隔へ設定されることを推奨します。ディフォルト（初期値）は 30 分間隔です。

「 OK 」 を押して進めます。画面 50 になります。

画面 50 インターバルタイム設定

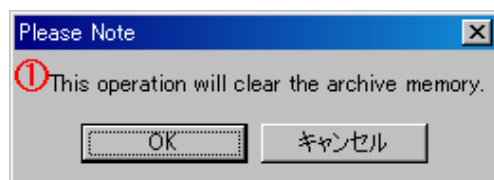
計測間隔(インターバルタイム)を設定します。

表示	時間	容量目安
1min	1 分	約 1 日分～約 42 時間
5min	5 分	約 5 日分～約 8 日以下
10min	10 分	約 10 日分～約 17 日以下
15min	15 分	約 15 日分～約 26 日以下
30min	30 分	約 30 日分～約 53 日以下
1hr	1 時間	約 60 日分～約 103 日以下
2hr	2 時間	約 120 日分～約 213 日以下

ロガーの容量が一杯になった時は、ロガーにある古いデータから順々に消去され、新しいデータが順々にメモリーされていく仕組みです。

※最初は、1min(1 分)に設定して、動作確認や運用操作の手順を把握されてから、希望の間隔に設定しなおすことをお勧めします。

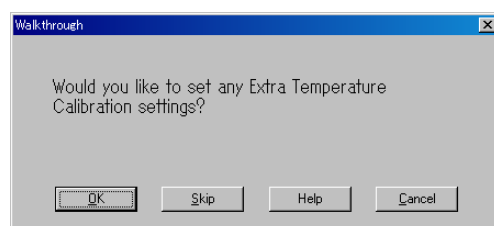
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 51 になります。

計測間隔を変更すると、従来から保存されているデータとタイミングが変わるので、ロガー内部のメモリー(記憶されているデータ)の消去(クリアー)されます。

画面 51 ロガークリアーの確認画面

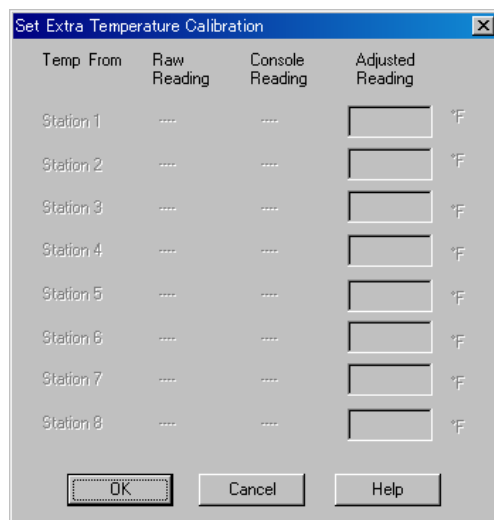
①この項目を設定しますとメモリー内の記録データが消去されます。

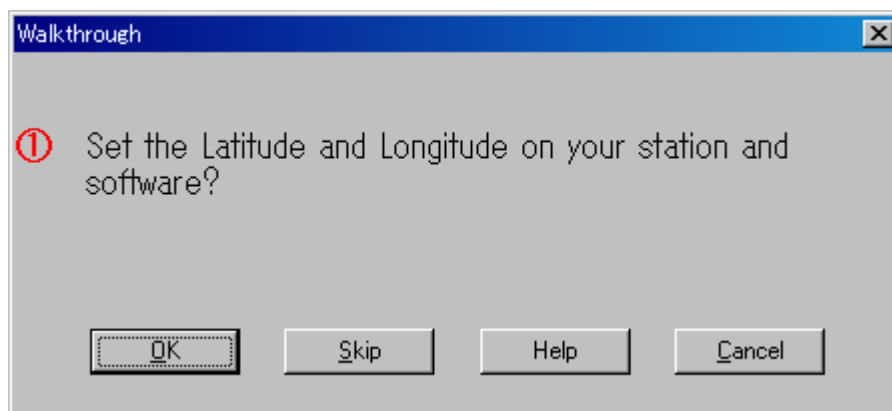
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 52 になります。

● 拡張温度の校正(オプション)

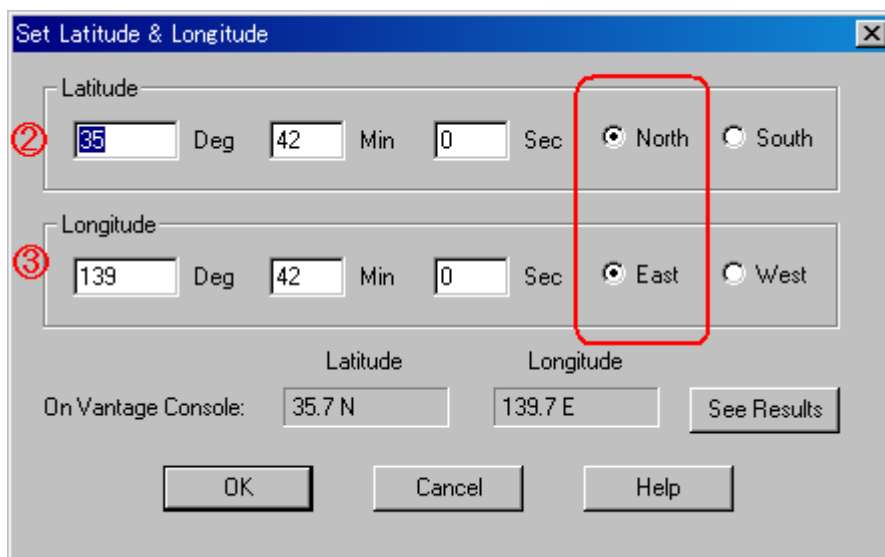
この画面は、ステーションコンフィグにて、拡張のオプションステーション類を設定して、温度計測を増やした場合に表示される画面で、ヴァンテージプロ 2 を単体で使用して計測する場合は表示されません。

画面 拡張温度の校正確認表示

意味 拡張した温度計の補正を行いますか？

「 **OK** 」 を押して進めます。

補正値を入れる場合は、枠内に入力します。「 **OK** 」 を押して進めます。

● 緯度経度の入力

画面 52 緯度経度の設定確認画面

①ご使用になるステーション、およびソフトウェアの緯度と経度の設定を行いますか？

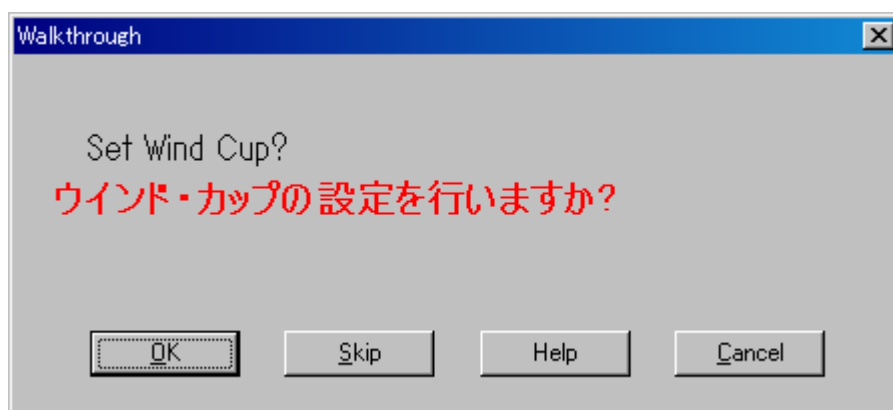
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 53 になります。

画面 53 緯度・経度の設定画面

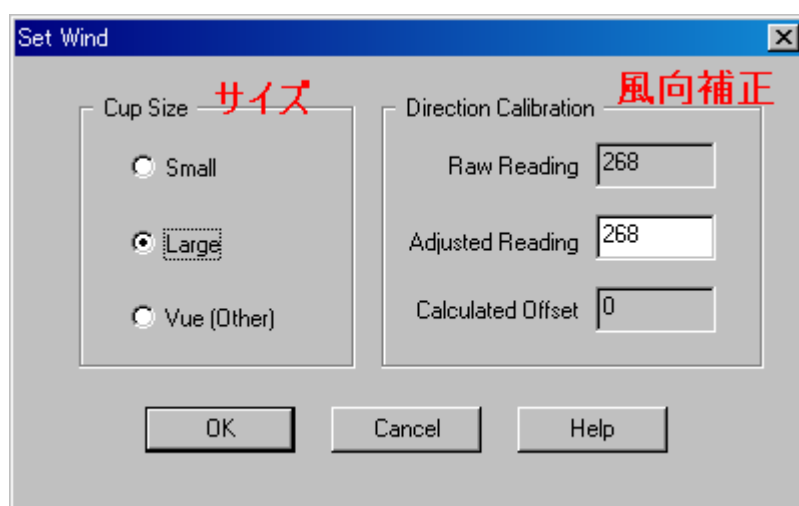
②緯度
③経度

※日本で使用する場合、North(北緯)・East(東経)にチェックを入れてください。

※下部に表示されているのはコンソールでのセットアップ時に表示される表記です。

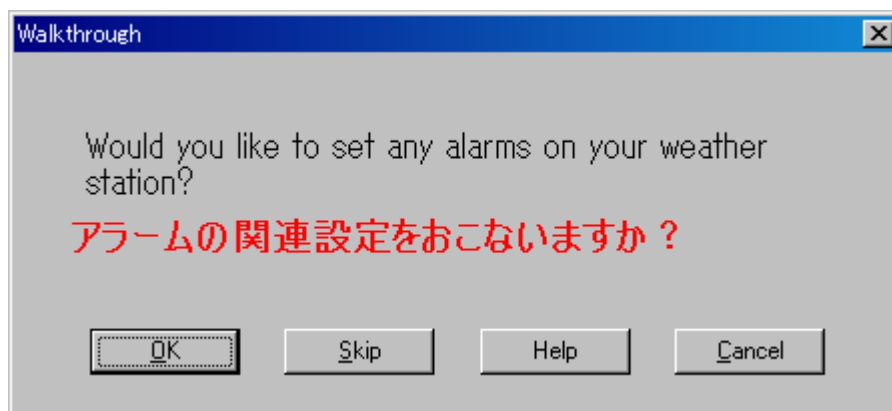
「 **OK** 」 を押して進めます。画面 54 になります。

● ウインド・カップの設定

画面 54 ウインド・カップ確認画面

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 55 になります。

画面 55 カップの設定および風向補正画面

※ 同梱されている風向カップは、Large(大)のカップです。
※ 風向の初期設置は、風向アームの方向が 北 方向に設定します。
　補正値を入れる場合は、北(0) 東(90) 南(180) 西(270)が目安です。
※ コンソール(表示器)においては、360 度(0～359)の表示ですが、ウェザーリンクでデータとして表示させているのは N、NNS などの 16 方位となります。

「 **OK** 」 を押して進めます。画面 56 になります。

● アラームの設定

画面 56 アラーム設定確認画面

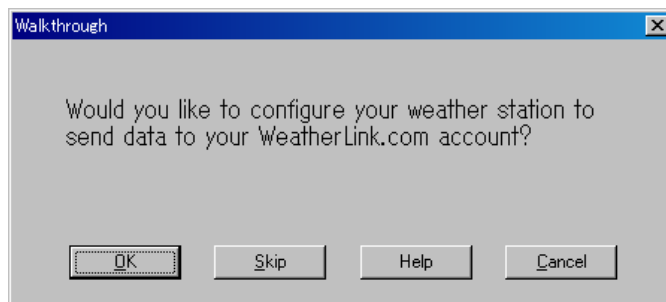
「 OK 」 を押して進めます。画面 57 になります。

画面 57 アラーム設定画面

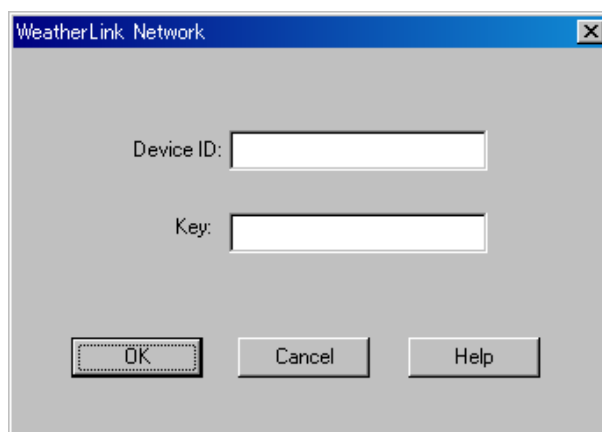
各項目でアラーム設定する値をそれぞれに設定します。
※ 各計測項目の内容は観測項目のページをご覧ください。
※ 当初は設定せずに、観測を進めある程度のデータを取得・考査した上で設定してください。

「 Set 」 を押して進めます。次の画面 になります。

●　ウェザーリンク・アカウントの設定

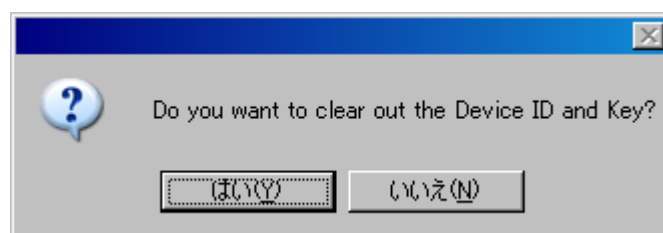
DAVIS 社では、WeatherLink.com で全世界に向けて気象観測データを閲覧するシステムの運用をしています。ウェザーリンク IP を使用の場合は無料で掲載(個別に設定)されますが、他のウェザーリンクからのアクセスをして、公開する場合は有料アカウントを取得する必要があります。

WeatherLink.com のアカウント入力確認画面

意味 WeatherLink.com へデータを送るためのアカウントを登録しますか?

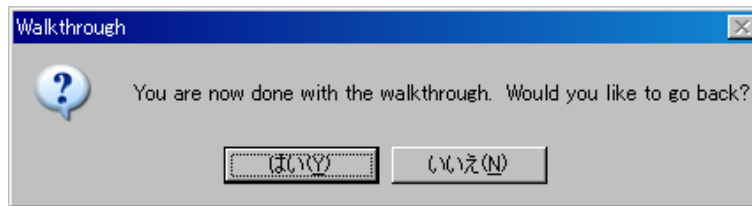
「 OK 」を押して進めます。　アカウント ID と Key の入力画面が表示されます。

アカウント・Key の入力画面

※　WeatherLink.com のアカウントをお持ちの場合は入力します。

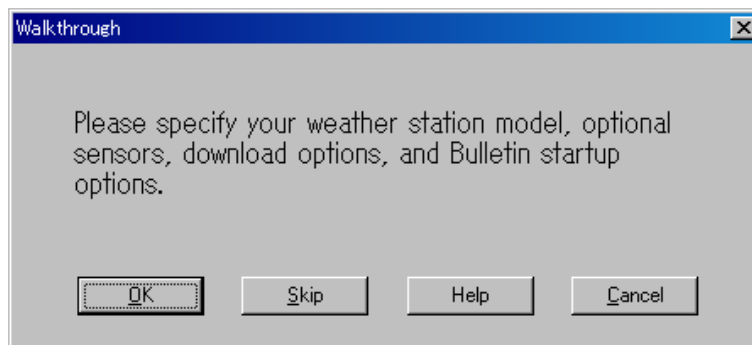
※　アカウントをお持ちでない場合は、何も入力しないでください。

「 OK 」を押して進めます。入力の無かったことを確認する画面が表示されます。

入力が無いの確認が目名

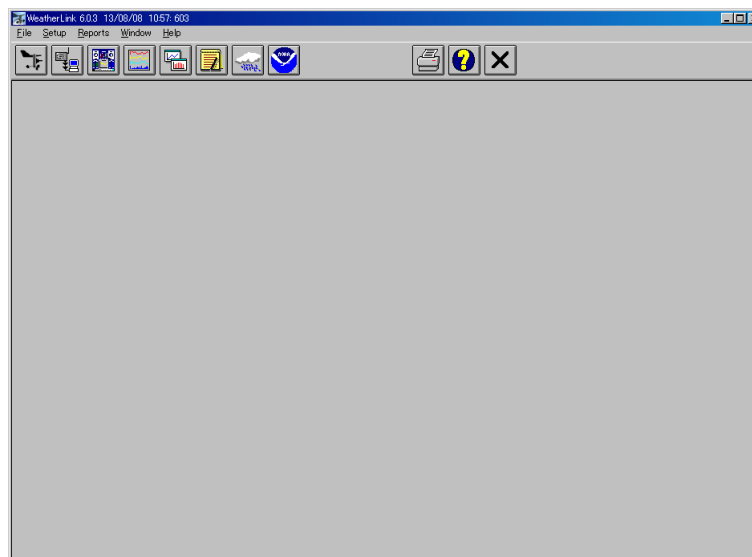
「 はい(Y) 」　を押して進めます。画面 58 になります。

● ウォークスルー設定終了の合図

画面 58 ウォークスルー終了確認画面

?初期設定は終了しました。 初期設定をくりえしますか？

「 はい(Y) 」を押して進めます。画面 59 になります。

画面 59 センサー類追加の場合の注意確認画面

意味　ご使用になるウェザーステーションの型式、追加センサー、ダウンロードのオプション、ブリテェン(掲示板)の開始オプションを入力して下さい。

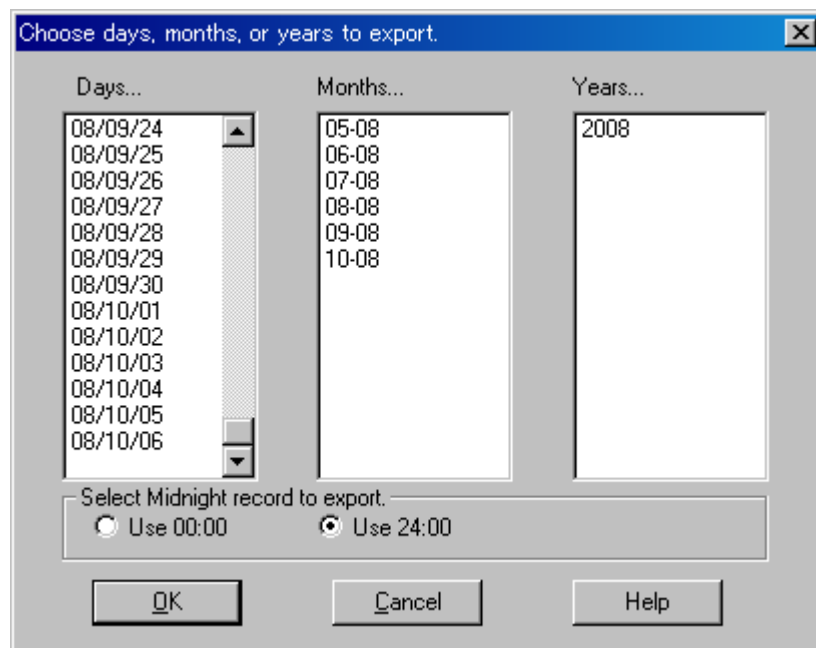
「 Cancel 」 を押して進めます。画面 59 の表示が消えて、元のグレー画面に戻ります。

ウェザーリンクの立ち上げをした当初の初期画面

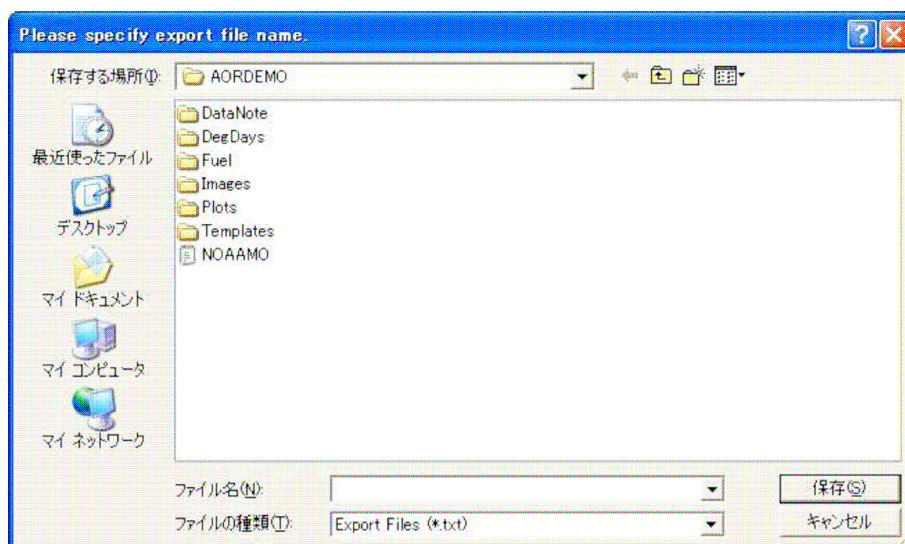
各種設定を再設定する場合は、Setup のウォークスルーを実行するか、Setup 内の個別メニューを呼び出して個々に再設定を行ってください。

● 応用（テキストデータへの変換）

一般的に一番質問の多い機能です。
測定したデータはテキストデータに変換できます。テキストデータにすることにより、ワードやエクセルでお客様独自の資料やグラフなども作成することができます。

画面アイコンの「Browse the station data.」または「Window」から「Browse」 をクリックすると上記のような測定データが表示されます。この画面を表示させると、ツールバーにある「Reports」と「Window」の間に通常は表示されておりませんが、「Browse」という項目ができます。上記画面のようなデータを表示させてから次に進みます。

「Browse」 をクリックし、「Export Records…」 を選択して次に進みます。

テキストデータへは、「日：Days…」、「月：Months…」、「年：Years…」 ごとに変換できます。
テキストデータに変換したい「日」、「月」、「年」 を選択します（複数選択可）。
『Select midnight record to export.』は、測定日一日の開始時間と終了時間の設定です。
「Use 00: 00」 は 0: 00 から 23: 59 を一日として設定、「Use 24: 00」 は 0: 01 から 翌 00: 00 を一日として設定します。初期設定（工場出荷時）は 「Use 24: 00」 です。

いずれかを選択し、**「 OK 」** を押して次に進みます。

「ファイル名（N）:」にテキストデータの名前（自由設定）を入力し、PC の「保存する場所(I):」を決定して「保存（S)」をクリックします。保存した場所で名前をつけたファイルを開ければテキストデータに変換されております。

● トラブルシューティングガイド（Ｑ＆Ａ）

下記はお客様より比較的多く問い合わせのある内容を簡単にまとめてみました。不具合発生時にご活用ください。

Ｑ（１）: PC と通信できない。
Ａ（１）: ＜6510SER（シリアルポート接続）の場合＞
コムポートの接続を確認してください。有効なコムポートを選択していますでしょうか？
コンソールとＰＣとの各配線の接続は確実にしっかりと接続してください。（ロガーはコンソールのかなり奥まで確実に差し込むようにしてください。）
＜6510USB（USB 接続）の場合＞
上記 6510SER（シリアルポート接続）の場合と同様のチェックをしてください。
同時に PC に USB ケーブルを認識させる作業が正常にできたかどうか確認してください。

Ｑ（２）: 風速のデータ数値が異常に高い数値で測定／表示される場合がある。
Ａ（２）: ケーブル式タイプ（6152C または 6162C）をご使用のお客様で、PC と常時接続している場合に多い症状です。PC のアース設置が不完全な場合に発生致しますので、PC の電源（コンセント部分）のアースを、しっかりと問題なく設置してください。なお、ノート型 PC ですとアース設置が非常に困難な場合が多いので、常時接続の場合はデスクトップ型 PC でのご使用を推奨致します。

Ｑ（３）: 画面アイコンの「Start the weather bulletin.」 または 「Window」 から 「Bulletin」をクリックすると、現況気象は表示されるがダウンロードができない。
Ａ（３）: オートダウンロード機能を利用しているが、たまたまダウンロード設定時間に PC の電源が入っていなくて（停電等も含む）、コンソールと通信ができなかった場合や、オートダウンロード機能を利用していないのに、＜オートダウンロードの設定＞の「Auto Download List」に「Station Name」 を掲載してオートダウンロード設定にしてしまった場合などに多い症状です。
これらに該当するような場合、コンソールに通信エラーのバグが存在しております。こうなると現況気象は表示しても、データとしての測定はしておりませんし、ロガーには何も蓄積されておりません。つまりこのような状況下では、ロガーには何もデータが残っておりませんので、コンソールの電源を抜いてバグを消去する方法、つまり簡易的にコンソールを初期状態にする方法しか復旧する術がございません。
コンソールとロガーを切り離し、コンソールの 100V 電源（バックアップ用電池も含む）をすべて抜いて電源供給ストップの状態から 10 分以上放置してください。10 分以上経ちましたら、コンソールとロガーとを接続してから電源を入れ、ビブー音が３回鳴ることを確認し、コンソールとＩＳＳとの通信を確立させ、コンソールに現況気象を表示させます。そして一番最初からセットアップする手順で、PC とコンソールとを接続し、14 ページの＜ウォークスルー＞から再度設定してください。

Ｑ（４）: 夜間にデータが測定されない。
Ａ（４）: ワイヤレス式タイプ（6152、6153 または 6163）をご使用のお客様に多い症状です。ISS の 3V リチウム電池がなくなっております。コンビニなどでも比較的入手可能なデジカメ用の電池ですので新品と交換してください。なお、電池の型番は 「CR123A 」です。

Ｑ（５）: 測定したデータを第三者に公表、公開する場合
Ａ（５）: 本機は気象庁検定品ではございません。故に、測定データを第三者へ公表、公開する場合は気象業務法の兼ね合いもありますのでご注意ください。